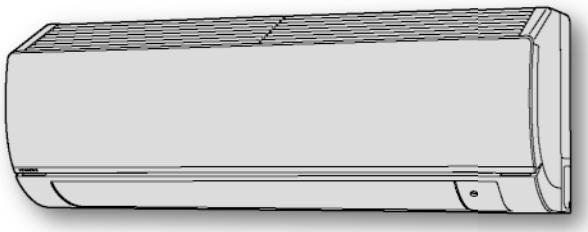
日立ルームエアコン
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

RAS-H40S2V6形

室内機 RAS-H40S2V6形／室外機 RAC-H40S2V6形



HFC 使用 エアコン
この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

インバーター
冷房・暖房
カラッと除湿タイプ
〈セパレート壁掛形〉

もくじ

はじめに …… 2
特長 …… 2

安全上のご注意 …… 3〜5
- 据え付け上の注意事項
- 移設・修理時の注意事項
- 使用上の注意事項

各部の名称と働き1（室内機／室外機） …… 6 7
各部の名称と働き2（リモコン） …… 8
リモコンの準備 …… 9 10
高帯電空清フィルター・マイナスイオンスティックの取り付け … 11

自動運転をするには …… 12
手動運転（暖房・カラッと除湿・涼快・冷房）をするには … 13
暖房運転をするには …… 14
カラッと除湿運転をするには …… 14
涼快運転をするには …… 15
イオンサプライ空気清浄運転をするには …… 15
エアコンクリーン運転をするには …… 15

カビ見張り運転をするには …… 16
風向の調節をするには …… 16
おやすみタイマー運転をするには …… 17
タイマー予約運転をするには …… 18 19
更に便利なタイマーの使いかた …… 20 21
リモコンのロックを設定するには …… 21

お手入れ …… 22 23
運転のしくみと知っておいていただきたいこと… 24〜26
上手な使い方 …… 27

故障かな？と思ったら …… 28
保証とアフターサービス …… 29
据え付けについて …… 30
定期点検／お客様ご相談窓口 …… 31
仕様 …… 裏表紙

ホーム＆ライフ ソリューション

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

はじめに

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。

特長

[カラッと除湿]

湿度をしっかり下げるカラッと除湿。
かいてき除湿、快速ランドリー、けつろ抑制、40%除湿モードが選べます。

[涼(りょう) 快(かい)]

夏にワンタッチで温度高め、湿度低めの冷やしすぎない健康空調を行います。
「涼·快」ボタンワンタッチでOK。

[クリーンボディ]

フロントパネルを下に開き、上面グリルを取り外すことで、すみずみまで楽にお掃除できます。

[マイナスイオン]

特殊セラミックス方式によりマイナスイオンを発生させます。

[エアコンクリーン]

エアコン内部を清潔に保つエアコンクリーン機能。
エアコン内部のカビやニオイを抑えていつもきれいな空気を届けます。

[イオンサプライ空清]

マイナスイオンのパワーをプラスして空気の汚れをしっかりキャッチします。

主な付属部品

部品名	員数	備考
リモコン	1	型式：RAR-2Z1
リモコン取付具	1	
リモコン取付具固定ねじ	2	
リモコン用乾電池(単4)	2	モニター用電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。
高帯電空清フィルター	1	約1年ご使用になれます。
マイナスイオンスティック	2	

主な別売部品

部品名	型式	備考	希望小売価格
高帯電空清フィルター	SP-VCF7	1セットで約1年ご使用になれます。	1,500円 税別
エアコン内部洗浄剤	SP-SSP1	室内機の熱交換器のみの簡易的な洗浄をするのに便利です。	1,500円 税別
かんたんリモコン	SP-RC1	ふだんよく使うボタンだけを集めたシンプルで使いやすいリモコンです。	4,000円 税別

●商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 …… この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 …… この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

据え付け上の注意事項

⚠警告

●**改造は絶対に行わない**
改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災などの原因になります。

●**据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

●**アース（接地）を確実に行う**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

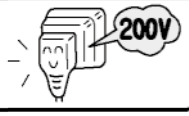
⚠注意

●**設置場所によっては、漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

●**可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは、設置しない**
万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火の原因になります。

●**除湿水は、確実に排水できるようにする**
排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になります。

●**電源は、200Vを使用する**
200V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、発火の原因になります。



移設・修理時の注意事項

⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。

●**修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する**
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。

●**エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

⚠警告

- **長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない**
  体調悪化や健康障害の原因になります。

- **電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む**
  ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災などの原因になります。

- **電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線やステップルなどでの固定を行わない**
  また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する
  感電や発熱・火災などの原因になります。

- **電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物の間にはさんだりしない**
  電源コードが破損する原因になります。
  傷んだまま使用すると、感電や火災などの原因になります。

- **室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
  また、性能が低下します。

- **電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない**
  感電や火災などの原因になります。

- **安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない**
  故障や火災などの原因になります。

- **落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）**
  落雷の程度によっては、故障の原因になります。

⚠注意

- **このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医療品等の保存など特殊用途には使用しない**
  エアコン自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になります。

- **ぬれた手で、スイッチを操作しない**
  感電の原因になります。

- **燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う**
  換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

- **エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない**
  燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

使用上の注意事項

⚠注意

- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**
  コードの内部が断線して、発熱や発火などの原因になります。

- **長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない**
  室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。

- **エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない**
  漏電によって、感電の原因になります。

- **動植物に直接風があたる場所には設置しない**
  動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

- **掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。

- **長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**
  ホコリがたまって発熱や発火などの原因になります。

- **室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない**
  落下や転倒などにより、けがの原因になります。

- **冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転または、上下風向板を下向きにしたままで長時間運転をしない**
  上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になります。

- **能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない**
  設定温度に達しないことや、露が落ちて家財などを濡らす原因になります。

- **室内機の洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する**
  なお、このエアコンは、室内機内部の熱交換器のみ簡易的な洗浄ができます。その際には必ず指定された別売の日立ルームエアコン専用エアコン内部洗浄剤をお使いください。
  指定以外の市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

- **室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
  けがの原因になります。

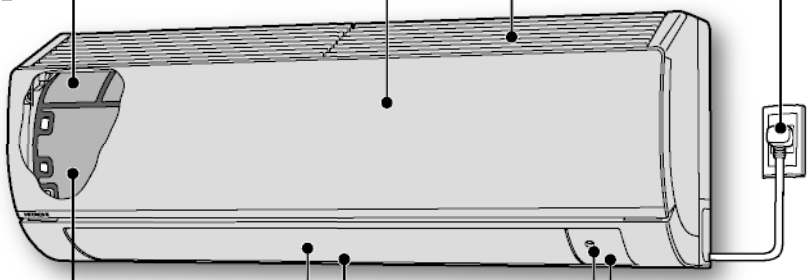
- **冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない**
  火傷の原因になります。

- **室内機の清掃時には、手袋を着用する**
  けがの原因になります。

各部の名称と働き1（室内機／室外機）

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞24ページ）

室内機



フロントパネル（☞11 23ページ）

プレフィルター（内部にあります。）
空気中のチリやホコリなどをキャッチします。
（☞22ページ）

上面グリル

電源プラグ

イオンサプライ空清ユニット（フィルターに取り付けてあります。）
付属の高帯電空清フィルターとマイナスイオンスティックを取り付けますと、タバコの煙・花粉・においなどをキャッチできます。
また、抗菌加工により高帯電空清フィルター内での菌の繁殖をおさえます。
（☞11ページ）

受信部
リモコンからの信号を受信します。

表示部
（☞7ページ）

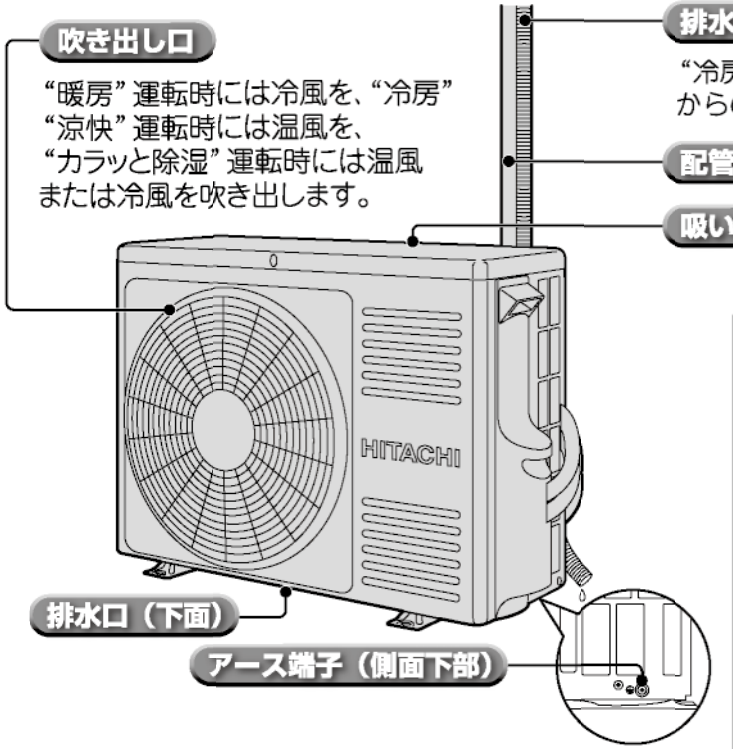
リモコン

上下風向板／左右風向板（吹き出し口）
（☞16ページ）

マイナスイオン
（特殊セラミックス方式）

リモコン取付具
壁や柱にリモコンを固定するときに使います。

室外機



吹き出し口
“暖房”運転時には冷風を、“冷房”“涼快”運転時には温風を、“カラッと除湿”運転時には温風または冷風を吹き出します。

排水ホース
“冷房”“カラッと除湿”“涼快”運転時には室内機からの除湿水を室外へ排水します。

配管・配線

吸い込み口（背面と両側面）

排水口（下面）

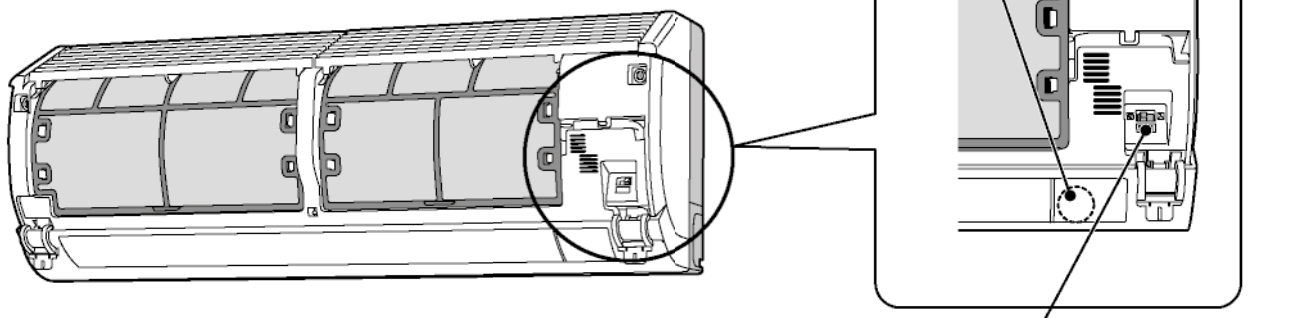
アース端子（側面下部）

室外機について

- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。
  寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。
- 公団吊り等をする場合は、排水口にブッシュとドレンパイプを取り付けて排水処理をしてください。

室内機操作部

■ **フロントパネルを取り外した状態です。**
（フロントパネルの開けかたは☞11ページ、
取り外しかたは☞23ページ。）



⚠注意 長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にする。なお、室外機から電源を取っている場合は、必ずブレーカーを切る。

☆電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。
電源スイッチ（室外機より電源を取っている場合はブレーカー）を切ることで、節電効果があります。

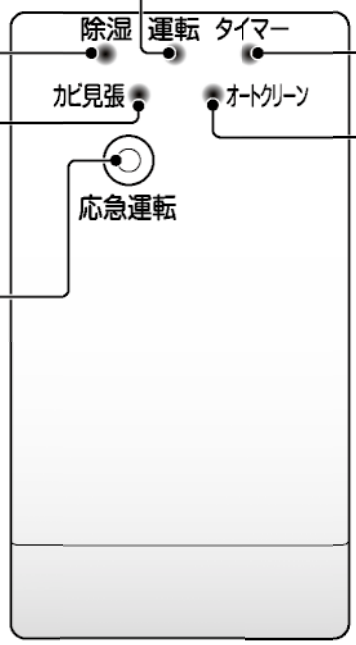
☆電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。
応急運転は、前回の運転内容で運転します。（但し、電源を入れた直後は自動運転を行います。）

室内機表示部

除湿ランプ（緑）
除湿運転中に点灯します。
（☞14 28ページ）

運転ランプ（黄）
運転中に点灯します。

タイマーランプ（橙）
タイマー予約時に点灯します。
（☞17 18 19 20 21 28ページ）



カビ見張りランプ（黄）
カビ見張り設定時に点灯します。
（☞16ページ）

オートクリーンランプ（黄）
エアコンクリーン設定時に点灯します。
（☞15ページ）

応急運転スイッチ

暖房運転時、次の場合に運転ランプが点滅します。
（故障ではありません。）

予熱運転
運転開始後の2～3分間で室内機の熱交換器を暖めます。

霜取り運転
室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。

各部の名称と働き2（リモコン）

リモコン

■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。

☆ 図の液晶表示は、リセットスイッチを押した直後の表示を示します。
本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

運転を開始することのできるボタン

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

暖房ボタン
暖房運転を開始します。
（☞14ページ）

カラッと除湿ボタン
カラッと除湿運転（かいてき除湿）を開始します。（☞14ページ）

涼快ボタン
涼快運転を開始します。
（☞15ページ）

おやすみタイマー運転ボタン
おやすみタイマー運転を開始します。
（☞17ページ）

タイマー合わせ部

切タイマーボタン
切タイマーをセットするとき押します。

入タイマーボタン
入タイマーをセットするとき押します。

予約ボタン
タイマー予約の内容を室内機に予約します。

取消ボタン
タイマー予約を取消します。

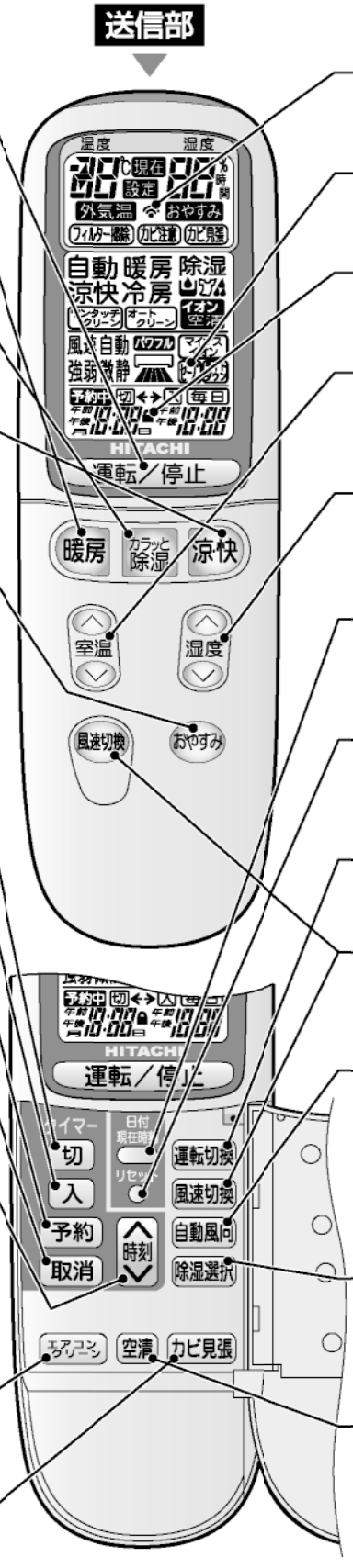
時刻ボタン
カレンダー（月·日）、時刻をセットをするとき、タイマー予約のときに押します。

予約機能部

エアコン停止中に押しても予約はされますが、動作しません。

エアコンクリーンボタン
エアコンクリーン運転を設定します。
（☞15ページ）

カビ見張りボタン
カビ見張り除湿を設定します。
（☞16ページ）



（扉を開けた状態）

送信マーク
送信したとき、点灯します。

セーブマーク
（☞10ページ）

ロックマーク
（☞21ページ）

室温設定ボタン
室温を設定します。押し続けると早送りになります。（☞12 13ページ）

湿度設定ボタン
カラッと除湿·涼快運転時の湿度を設定します。
（☞13ページ）

日付・現在時刻ボタン
カレンダー（月・日）、現在時刻のセットと確認に使います。（☞9ページ）

リセットスイッチ
電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。（☞9ページ）

運転切換ボタン
運転の種類を選びます。（☞13ページ）

風速切換ボタン
風速を選びます。（☞12 13ページ）
（どちらのボタンでも風速が選べます。）

自動風向ボタン
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（☞16ページ）

運転を開始することのできるボタン

除湿選択ボタン
カラッと除湿の種類を選択し、選択した除湿運転を開始します。
（☞14ページ）

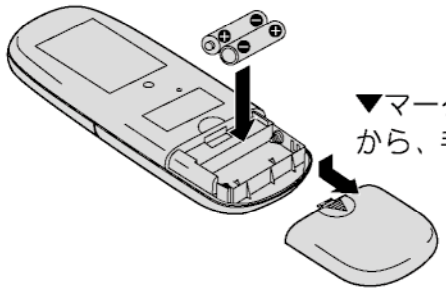
空清ボタン
イオンサプライ空気清浄運転を開始します。（☞15ページ）

リモコンの準備をしてください

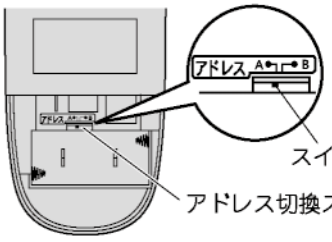
（運転のしくみと知っておいていただきたいこと 24ページ）

1 乾電池を入れる

●乾電池は単4形を2本お使いください。



アドレス切換スイッチについて



お客様ご自身での操作はしないでください。

※アドレス切換スイッチは、2台の室内機を同じ部屋に据え付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用しますので、通常は使用しません。（工場出荷時は「A」側に設定されています。）
なお、設定のしかたについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

2 扉をあけて、先の細いものでリセットスイッチを押す

3 カレンダー（月・日）と現在時刻を合わせる

●**乾電池を入れ、リセットスイッチを押すと“月日”の点滅表示になります。**
（★下の表示は、3月25日午後1:30に合わせる場合です。）

リセットスイッチ

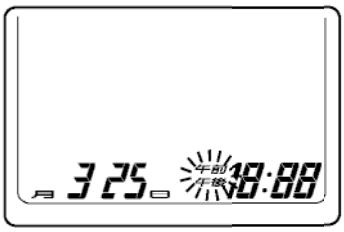
1 時刻 ボタンを押して、月日を合わせる

時刻 ◀月・日が進む
時刻 ◀戻る

●押し続けると早送りになります。

2 日付 現在時刻 ボタンを押す

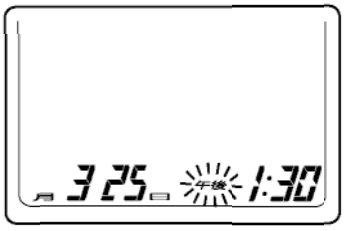
●“月日”の点滅表示が点灯表示に変わり、“午前”“午後”が点滅表示をはじめます。



3 時刻 ボタンを押して、現在時刻を合わせる

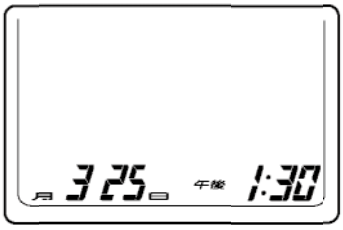
時刻 ◀時刻が進む
時刻 ◀戻る

●押し続けると早送りになります。



4 日付 現在時刻 ボタンを押して、現在時刻を設定する

●“午前”または“午後”の点滅表示が点灯表示に変わり、10秒後自動的に消えます。



カレンダー（月・日）と現在時刻の確認のしかた

●日付 現在時刻 ボタンを押してから、上記 2、4 の手順で確認を行い、必要に応じて 1、3 で修正を行ってください。

…リモコンの準備をしてください（つづき）

4 アンペア（標準・セーブ）切換えがセットできます

●ご家庭のブレーカーが切れてしまうようなときに、「セーブ」にセットしますと、ブレーカー切れが防ぎやすくなります。
（お買い上げ時は「標準」にセットされています。）

時刻 ボタンの下部を押しながら 自動風向 ボタンを押す

“ピッ”という受信音がして、セーブ が点灯します。

もう一度

解除 **時刻 ボタンの下部を押しながら 自動風向 ボタンを押す**

●解除になり セーブ が消灯します。

■「セーブ」セット時のご注意

●暖房運転の最大能力が若干低下しますので、立ち上がり時に多少時間がかかります。
また、外気温が低いときは“設定温度”に達しないことがあります。
（「セーブ」セット時は10（A）制限運転となります。）

リモコンを操作するとき

●操作は、室内機の受信部に向けて。
受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

●リモコンはていねいに扱ってください。
落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。
電源を入れた直後の10秒間程度は、リモコン操作をしても信号を受けつけません。

乾電池について

●乾電池の寿命は、普通の使いかたで約1年です。
（ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。）
付属の乾電池はモニター用です。

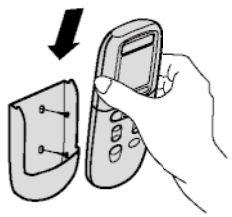
●液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。

●乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。

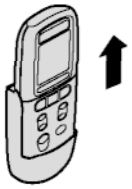
●乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
(1)乾電池の＋（プラス）、－（マイナス）の向きは器具の表示どおりに正しく入れてください。
(2)新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
(3)長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

■ リモコンは、付属の取付具で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。

取り付ける場所で、事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。



●斜め上から差し込む。



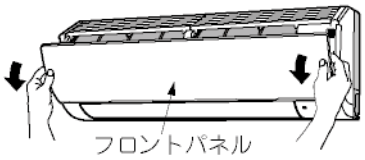
●外すときはリモコンの上部を持って上方に引く。

●リモコンを左右にねじって取り外さないでください。裏ぶたが外れる場合があります。

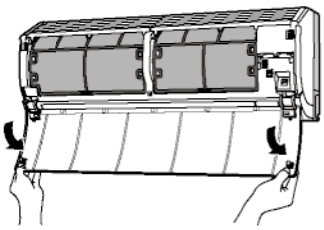
高帯電空清フィルター・マイナスイオンスティックの取り付け

■ リモコンで運転を停止してから行ってください。

1 フロントパネルを開ける

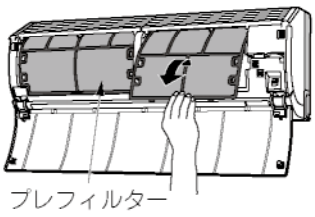


●フロントパネルの両側を持ち手前下方向に引き下げます。



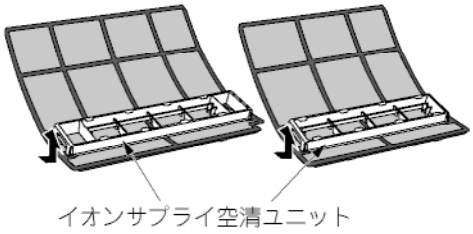
●フロントパネルを下側までおろします。

2 プレフィルターを取り外す

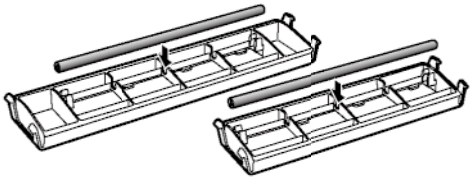


●左右2枚のプレフィルターを手前に引き出します。

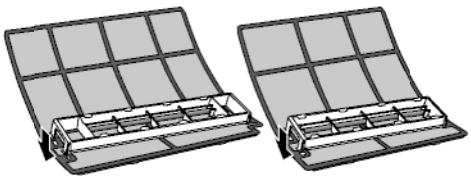
3 イオンサプライ空清ユニットを取り外す



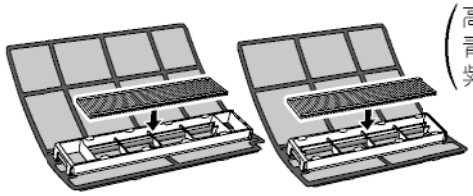
4 マイナスイオンスティックを取り付ける



5 イオンサプライ空清ユニットを取り付ける

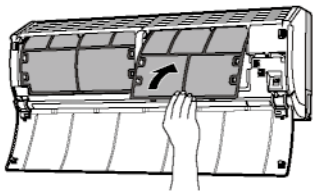


6 高帯電空清フィルターを取り付ける



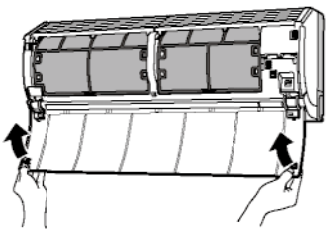
（高帯電空清フィルター
青色：VOC除去用
紫色：除菌脱臭用）

7 プレフィルターを取り付ける

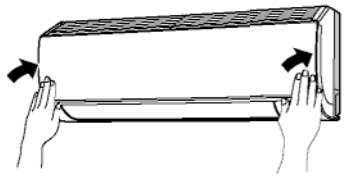


●プレフィルターは㊙表示のある方を手前にして取り付けてください。
（プレフィルターは、左・右で形状が異なります。）
●高帯電空清フィルター（青色、紫色）は左右どちら側につけても効果は同じです。

8 フロントパネルを閉じる



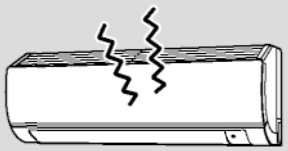
●フロントパネルを両手で持ち、上に持ち上げます。



●フロントパネルの上部の左右2ヵ所が「カチッ」という音がするまで押し付けます。
（マグネットで固定されます。）

⚠注意

●フロントパネルが、がたついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
●フロントパネルを下側におろしたとき、無理に力を入れないでください。フロントパネルが本体から外れたり、故障の原因になります。
●プレフィルターを外したまま運転しないでください。
機械にホコリが入り、故障の原因になります。
●プレフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。



自動運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと 24ページ）

■ **カレンダー機能・室温・外気温などから、そのときに適した運転の種類（暖房・カラッと除湿・冷房）と快適温度を決定します。リモコンのカレンダー（月・日）と現在時刻を合わせてから、運転を始めてください。**

1 運転切換 **ボタンを押して、運転の種類を“自動”に設定する**

2 運転／停止 **ボタンを押す**

- “ピッ”という受信音がして、自動運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。

停止 **もう一度** 運転／停止 **ボタンを押す**

■ **お好みに応じて、室温の微調節と風速の切換えができます。**

▶ 室温の微調節

1 室温 **ボタンを押す**

- “ピッ”と受信音がして、1回押すごとに1℃変化します。
- 自動設定した室温より1℃高い温度に設定すると ▲ ℃ と表示されます。
  自動設定した室温より1℃低い温度に設定すると ▼ ℃ と表示されます。
- 調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。
- 湿度の設定はできません。

▶ 風速の切換え

2 風速切換 **ボタンまたは** 風速切換 **ボタンを押す**

- “自動”と“微”“静”が選べます。

手動運転〔暖房・カラッと除湿 / 涼快・冷房〕をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 24ページ）

この部分のいずれかが点灯します。

この部分が点灯します。

この部分が点灯します。

1 運転の種類を選ぶ　1 運転切換

- 暖房·カラッと除湿（リモコンの表示は“除湿”です。）·涼快・冷房・自動のいずれかを選べます。
- 送風運転をするには、イオンサプライ空気清浄運転（☞ 15ページ）をしてください。

2 風速のセット

2 風速切換 または 風速切換

- 自動・強・弱・微・静のいずれかを選べます。
  風速の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

3 室温のセット　3 室温 ◀上がる ◀下がる

■ リモコン設定温度範囲

暖房·涼快·冷房	16～32℃
カラッと除湿	10～32℃

- 室温の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

4 湿度のセット　4 湿度 ◀上がる ◀下がる

（カラッと除湿・涼快のみ）

- **5%刻みで設定できます。**

■ 設定湿度範囲

40～70%

- 湿度の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

5 運転開始

5 運転／停止 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。

停止　もう一度 運転／停止 ボタンを押す

- 次回からは 運転／停止 ボタンを押すだけで、上記 1～4 でセットした同じ内容で運転ができます。

暖房運転をするには

■ 暖房 ボタンを押すと、“暖房”運転を行います。

暖房 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、暖房運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- **お好みに応じて、室温の調節、風速の切換えができます。**
  設定できる温度の範囲は16℃～32℃です。（☞ 13ページ）

停止 運転／停止 ボタンを押す

カラッと除湿運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞ 25ページ）

■ カラッと除湿 ボタンを押すと、“カラッと除湿（かいてき除湿）”運転を行います。

カラッと除湿 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、カラッと除湿運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプと「除湿」ランプが点灯します。
- **お好みに応じて、室温の微調節（☞ 12ページ）と湿度の調節（☞ 13ページ）、風速の切換え（☞ 13ページ）ができます。**

停止 運転／停止 ボタンを押す

■ 除湿選択 ボタンで、3種類の“カラッと除湿”運転が行えます。

除湿選択 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、カラッと除湿運転を開始します。
  押すたびに右のように切換わります。
- 室内機表示部の「運転」ランプと「除湿」ランプが点灯します。

→ 快速ランドリー → けつろ抑制 → 40%除湿
除湿　除湿

- **お好みに応じて、室温の微調節（☞ 12ページ）、風速の切換え（☞ 13ページ）ができます。（“けつろ抑制”は室温の微調整はできません。）**
- “快速ランドリー”“けつろ抑制”は、切タイマーがあらかじめ設定されていますが、おやすみボタンを押すと1、2、3、7時間に変えることができます。（☞ 17ページ）
- “40%除湿”は湿度の調節ができます。

停止 運転／停止 ボタンを押す

涼快運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞25ページ）

■ 涼快 **ボタンを押すと、エアコンが自動的に温度と湿度を設定する涼快運転を行います。**
（加湿する機能はありません。）

涼快 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、涼快運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- **お好みに応じて、室温の微調節（☞12ページ）と風速の切換え（☞13ページ）ができます。**
- 設定室温は、室温ボタンを1回押すごとに1℃変化します。
（設定できる範囲は、自動設定した温度に対して高めに3℃、低めに3℃です。）
- 湿度の調節はできません。

停止 運転／停止 **ボタンを押す**

イオンサプライ空気清浄（送風）運転をするには

■ 空清 **ボタンを押すと、イオンサプライ空気清浄運転を行います。**

空清 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、イオンサプライ空気清浄運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。
- **お好みに応じて風速の切換えができます。**（強・弱・微・静のいずれかを選べます。）
- 暖房･冷房･カラッと除湿･涼快運転中に 空清 ボタンを押すと、風速を上げて空気清浄能力を増した運転を行います。（運転条件によっては、風速が上がらないことがあります。）

停止 運転／停止 **ボタンを押す**

取消し **もう一度** 空清 **ボタンを押す**
（暖房・冷房・カラッと除湿・涼快運転時）

エアコンクリーン運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞26ページ）

■ **エアコンクリーンを設定しておきますと、冷房・カラッと除湿・涼快運転を行った後で、自動的にエアコンクリーン運転を行い、カビの発生を抑えます。**
（発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません。）

エアコンクリーン ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに オートクリーン が点灯します。
- 室内機表示部の「オートクリーン」ランプが点灯します。
- 約1時間の運転を行って、自動的に停止します。
- エアコンクリーン運転中は、室内機表示部の「運転」ランプが点灯し、「オートクリーン」ランプが点滅します。
- 冷房・カラッと除湿・涼快運転が短いとき（約1時間以内）はエアコンクリーン運転は行いません。

取消し **もう一度** エアコンクリーン **ボタンを押す**
- リモコンの オートクリーン が消灯します。
- 室内機表示部の「オートクリーン」ランプが消灯します。

カビ見張り運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと 26ページ）

■ **お出かけのときなど、カビ見張りを設定しておきますと、室内の温度と湿度を検知してカビが発生しやすい温度や湿度になると、自動的に除湿運転を開始します。**

カビ見張 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに カビ見張 が点灯します。
- 室内機表示部の「カビ見張」ランプが点灯します。
- カビ見張り除湿の設定時間は、2週間です。2週間経過すると、室内機表示部の「カビ見張」ランプが消灯します。

（なお、リモコンの カビ見張 表示は消えませんので、室内機表示部の「カビ見張」ランプが消えている場合は、再設定または、取消しをしてください。）

取消し

もう一度 カビ見張 ボタンを押す

- リモコンの カビ見張 が消灯します。
- 室内機表示部の「カビ見張」ランプが消灯します。

風向の調節をするには

■ **上下の風向――必ずリモコンで操作してください。（手で動かすと、故障の原因になります。）**

自動セット

- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
  通常、上下風向操作は特に必要ありません。

上下お好み風向

- 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、自動風向 ボタンで上下風向板を動かし、お好みの位置になったら、もう一度 自動風向 ボタンを押して止めてください。

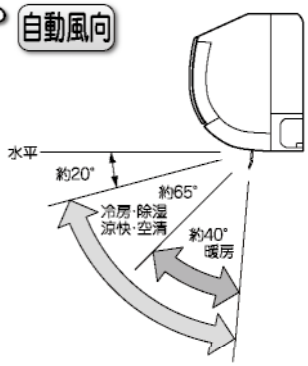
1 自動風向 ボタンを押す

2 お好みの位置で
もう一度 自動風向 ボタンを押す

上下風向スイング 自動風向

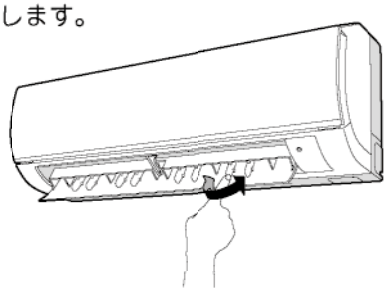
- 自動風向 ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。
  再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。

（風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。）



■ **左右の風向――手で操作します。**

- 図のように、左右の風向を調節します。



おやすみタイマー運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞26ページ）

■ “風速”を就寝時に適した運転にし、指定した時間になると運転を停止するおやすみ専用の切タイマー運転です。1hモアタイマー運転の機能があります。

- おやすみ ボタンを押すだけで、1、2、3時間、おやすみ（7時間見張）運転の中からお好みの時間が選べます。
- 冷房・カラッと除湿・涼快運転時のおやすみ（7時間見張り）運転は、3時間で一旦運転を停止し、その後4時間、お部屋の温度・湿度を見張る運転です。
  見張っている間は、お部屋の状況により自動的に運転・停止（1hモアタイマー運転）を繰り返します。
- 暖房運転時のおやすみ（7時間見張り）運転は、3時間で一旦運転を停止し、その後4時間、お部屋の温度を見張る運転です。室温が4～5℃下がると再運転を開始し、ほぼその温度を保つような運転を行います。

★表示は、午後11:38に2時間コースをセットした場合で、午前1:38に運転を停止します。

おやすみ ボタンを押す

- おやすみ ボタンを押すたびに次のように変わります。

- “ピッ”と受信音がして、おやすみ運転を開始します。
  リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間と、運転停止の時刻が表示されます。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点灯します。
- おやすみ運転中の風速は、静に固定されます。
- イオンサプライ空気清浄運転のおやすみタイマー設定時は、1、2、3、7時間のタイマー運転となります。

取消し おやすみ ボタンまたは 取消 ボタンを押す

1hモアタイマー運転のしくみ

- 冷房・カラッと除湿・涼快運転時は1、2、3時間運転のおやすみタイマーが切れた後でも、お部屋の温度・湿度を見張り、お部屋の状況により1度だけ、自動的に運転・停止（1hモアタイマー運転）を行います。（見張りの時間は、タイマーが切れた後、最長4時間）

冷　　房	室温が2℃上昇すると1時間運転します。
カラッと除湿・涼快	室温が2℃上昇したとき、または、設定室温より上昇し、湿度が70%まで上昇したとき1時間運転します。

- 1時間、2時間、3時間運転ではおやすみタイマーが切れた後で、お部屋の温度・湿度を見張っている間は室内機のタイマーランプが点灯し、リモコンには おやすみ 予約中 が点灯します。

■ おやすみ学習（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞26ページ）

- 1hモアタイマー運転中、または見張り中にリモコン操作をした場合に1hモアタイマー運転の開始条件と運転内容を見直し、お好みの内容に近づけます。

タイマー予約運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと☞26ページ）

■ **タイマーは 切 ↔ 入 タイマー、切 タイマー、入 タイマーの3種類の使いかたができます。予約は、その内の1種類のみです。**

タイマー予約のしかた

切 タイマーのみ予約する場合 …… 1 → 2 → 3

切 タイマー は、セットした時刻に運転を停止させます。

入 タイマーのみ予約する場合 …… 4 → 5 → 6

入 タイマー は、セットした時刻に設定室温となるよう運転を開始します。

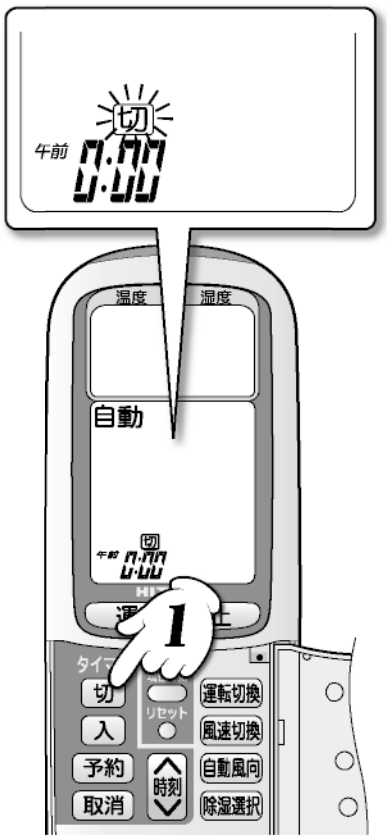
切 ↔ 入 タイマー予約のしかた

- **現在時刻を基準にして、セット時刻が早い方から先に作動します。（必ず日付・現在時刻を確認してください。）**（☞9ページ）

〈例：午後10:30に運転を

1 切 タイマーボタンを押す

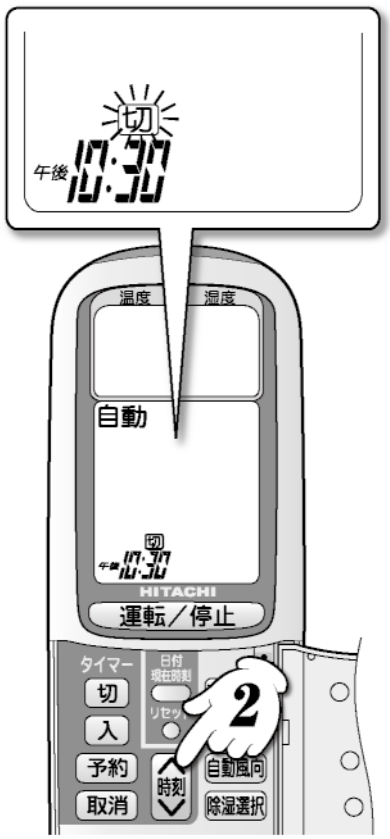
- 切 が点滅します。



2 時刻 ボタンを押して時刻をセット

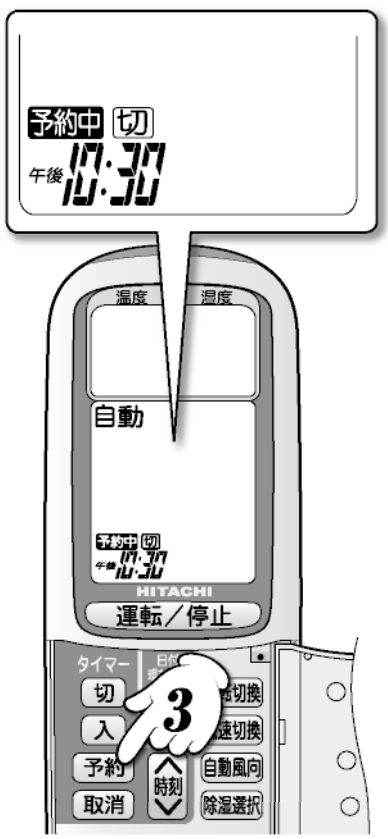
- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

時刻 ◀時刻が進む
時刻 ◀時刻が戻る



3 予約 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、切 タイマーが予約されます。
- 切 の点滅が点灯に変わり、“予約中”が表示されます。
- 切 時刻を変更したい場合は、もう一度 1 にもどって 切 タイマーボタンを押してください。



便利な使い方

タイマー予約の取消しかた

取消し 取消 **ボタンを押す**

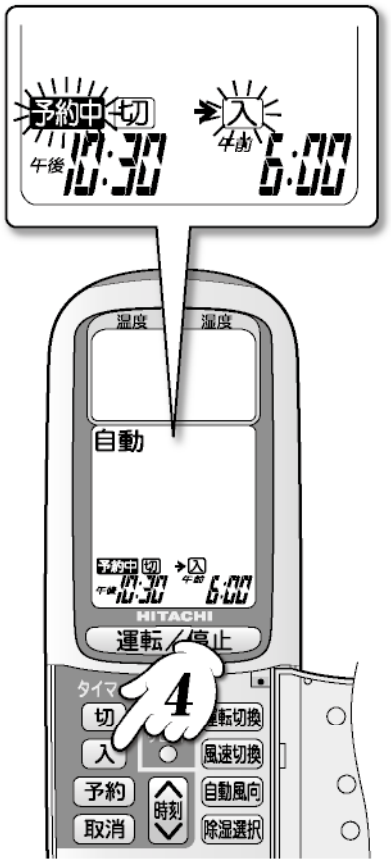
（全てのタイマー予約が取り消されます。）

- 一度セットした時刻はリモコンが記憶していますので、前回と同じ時刻を予約したいときは、予約ボタンを押すだけで同じ時刻が予約されます。
- カラッと除湿 涼快 ボタンで運転をしたときは、時刻で設定する 切 入 タイマー予約はできません。

〈停止させ、午前7:00にお好みの室温になるようセットする場合〉

4 入 タイマーボタンを押す

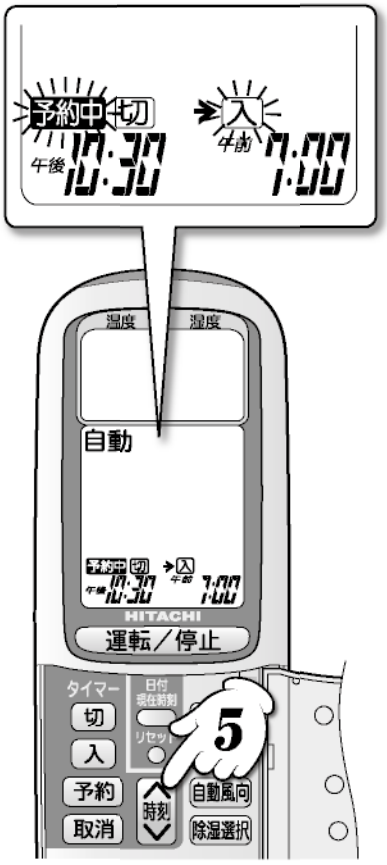
- 入 が点滅します。
- ←→ 表示は、切 タイマー、入 タイマーの動作順序を表わします。



5 時刻 ボタンを押して時刻をセット

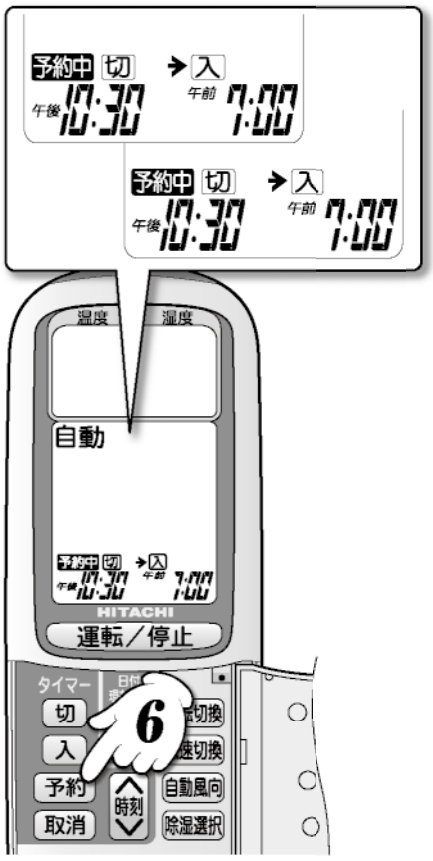
- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

時刻 ◀時刻が進む
◀時刻が戻る



6 予約 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、入 タイマーが予約されます。
- 入 の点滅が点灯に変わり、“予約中”が表示されます。
- 入 時刻を変更したい場合は、もう一度 4 にもどって 入 タイマーボタンを押してください。



便利な使い方

更に便利なタイマーの使いかた

■ カラッと除湿運転（けつろ抑制）と暖房運転の 入 タイマーを同時にセットできます。
これによりカラッと除湿運転（けつろ抑制）で翌朝の結露を抑え、暖房の 入 タイマーによりお目覚め時にお部屋を暖めておくことができます。

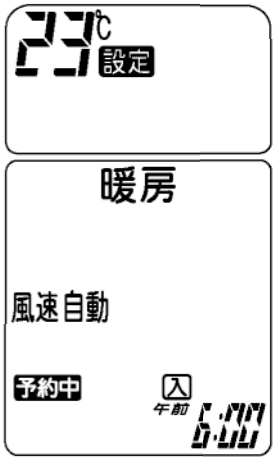
入 タイマーと 除湿選択 ボタンの組み合わせ

就寝前に、カラッと除湿運転の（けつろ抑制）と、翌朝の 入 タイマーをセットして、暖房運転を行うなどの組み合わせタイマーが設定できます。

〔★下の表示は、暖房運転の 入 タイマー予約後、午後11:38にカラッと除湿運転（けつろ抑制）を行った場合です。〔カラッと除湿運転（けつろ抑制）は、自動的に2時間で停止します。〕〕

1 入 タイマーを予約する

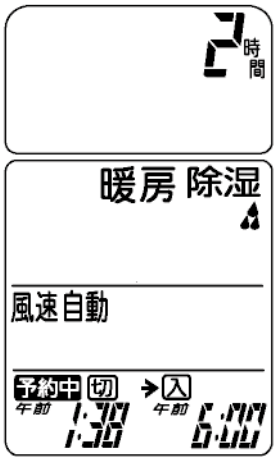
入 タイマー予約したときの運転は、 入 タイマーの時刻にほぼ設定室温になるよう、運転を開始します。タイマー予約をしたときには、設定状態を十分確認してください。



2 除湿選択 ボタンを押す

（マークを表示させます。）

2時間後の午前1:38にカラッと除湿（けつろ抑制）運転を停止し、午前6:00にほぼ設定室温になるように、暖房運転を開始します。



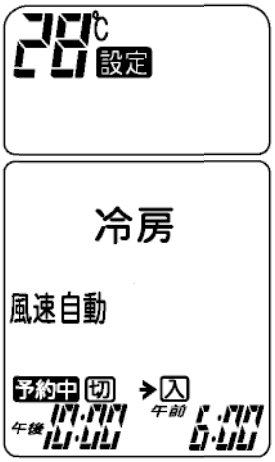
■ 自動運転、手動運転の 切 または 入 タイマー、 切 入 タイマー予約を設定している場合でも、カラッと除湿 ボタンや 涼快 ボタンを押して、カラッと除湿運転や涼快運転を行うことができます。

切 入 タイマーと 涼快 ボタンの組み合わせ

冷房運転で 切 入 タイマー予約中に 涼快 ボタンを押して、涼快運転を行うことができます。

（★下の表示は、冷房運転の 切 入 タイマー予約後、涼快運転を行った場合です。）

1 切 入 タイマーを予約する



2 涼快 ボタンを押す

**このときは、設定しているタイマーを無効として涼快運転を行います。
涼快運転を停止すると、設定されていたタイマー予約が働きます。**

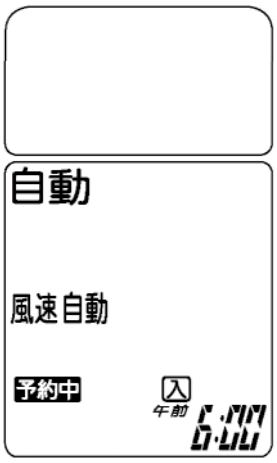
便利な使い方

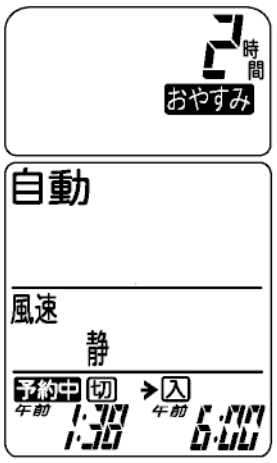
おやすみタイマー運転と 入 タイマーの組み合わせ

●おやすみタイマー運転で、運転を自動停止させた後、 入 タイマーで翌朝の運転を行うなどの組み合わせタイマーの設定ができます。 入 タイマーを予約したあとに、おやすみ ボタンを押してください。

（★下の表示は、 入 タイマー〔午前6:00〕を予約し、午後11:38におやすみ2時間コースをセットした場合です。）

1 入 タイマーを予約する　2 おやすみ ボタンを押す





●2時間後の午前1:38に運転を停止し、午前6:00にほぼ設定室温になるように運転を開始します。

●おやすみタイマー運転の時間は 入 タイマー時刻前までの範囲で設定してください。

リモコンのロックを設定するには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと 26ページ）

■ ロックを設定すると、運転／停止 ボタンと 室温 ボタン・湿度 ボタン以外のリモコン操作をできなくします。

1 ロックしたい運転の種類、風速をセットする

2 エアコンの運転を停止した状態で 時刻 ボタンの下部を先に押しながら 取消 ボタンを押す

●リモコンに🔒が点灯します。
●ロックを設定すると、次の運転からは、設定した運転、風速が固定されます。お好みに応じて室温、湿度（カラッと除湿、涼快のみ）の調節はできます。
●運転中およびタイマー予約時は、ロックの設定を受け付けません。
●カレンダー（月・日）設定をしないと動作しません。

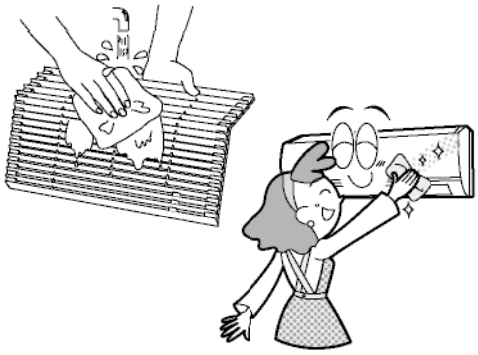
もう一度 取消し 時刻 ボタンの下部を押しながら 取消 ボタンを押す

●🔒が消灯します。

このようなときに便利です	●お子さまがリモコンをさわってしまい、いつの間にか他の運転に変わっていたのを知らずに運転してしまった…というようなことがないように、ロックすると便利です。 ●ボタンを押そうとしたら、つい他のボタンにふれてしまって…といった場合にも便利です。

お手入れ（プレフィルター・フロントパネル・上面グリル）

■ フロントパネル・上面グリルは丸洗いOK。清潔にお使いいただけます。

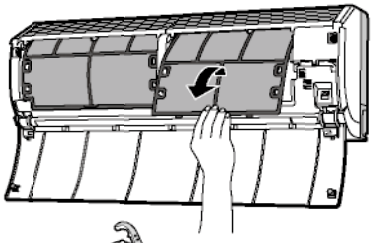


- フロントパネル・上面グリルは、取り外して丸洗いできます。やわらかいスポンジのようなもので洗い、中性洗剤を使った場合はよく水洗いをしてください。
- 水気をよく拭き取ってください。水気が残っていると故障の原因になります。
- フロントパネル・上面グリルを洗わないでお手入れする場合は、本体・リモコンなどとともに、やわらかい布で、から拭きしてください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

⚠警告 お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）

■ 必ずプレフィルターのお掃除を。電気代の節約にもなります。

1 フロントパネルを開け、プレフィルターを取り出す

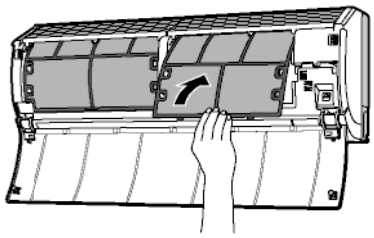


（フロントパネルの開閉のしかた ☞ 11ページ）

2 掃除機でホコリを吸い取る

- プレフィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。
- 高帯電空清フィルターは使い捨てです。

3 プレフィルターを取り付ける



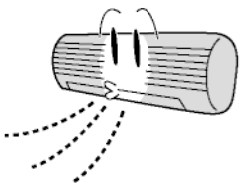
- プレフィルターは「前」表示のある方を手前にして取り付けてください。（左・右で形状が異なります。）

⚠注意

- **プレフィルターを外したまま運転しない**
  熱交換器のすき間や機械にホコリが入り、熱交換器に臭いの成分が付着したり、故障の原因になります。

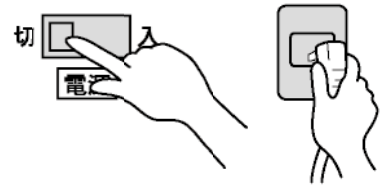
■ 長期間（1ヵ月以上）使わないときは、次の手順でお手入れを。

1 室内機の内部を乾かす。

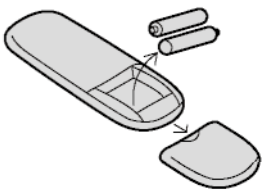


- 晴れた日に半日ほどイオンサプライ空気清浄（送風）運転をしてください。
  （☞ 15ページ）
  内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

2 電源スイッチを“切”にして、電源プラグを抜く。または、ブレーカーを“OFF”にする。

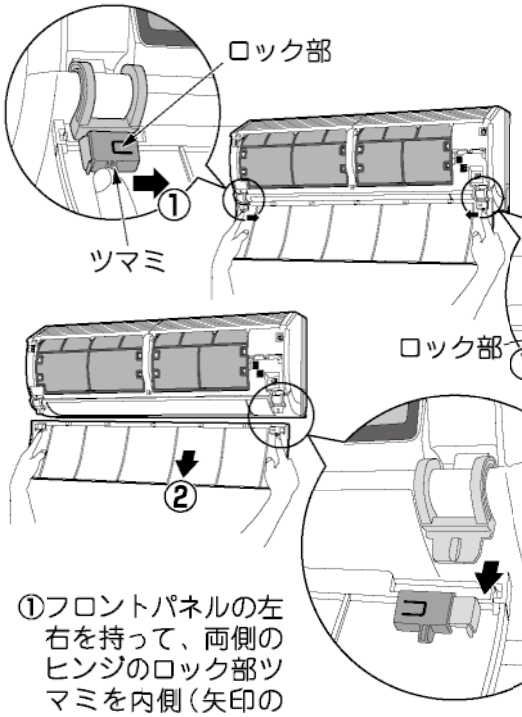


3 リモコンの乾電池を取り出す。



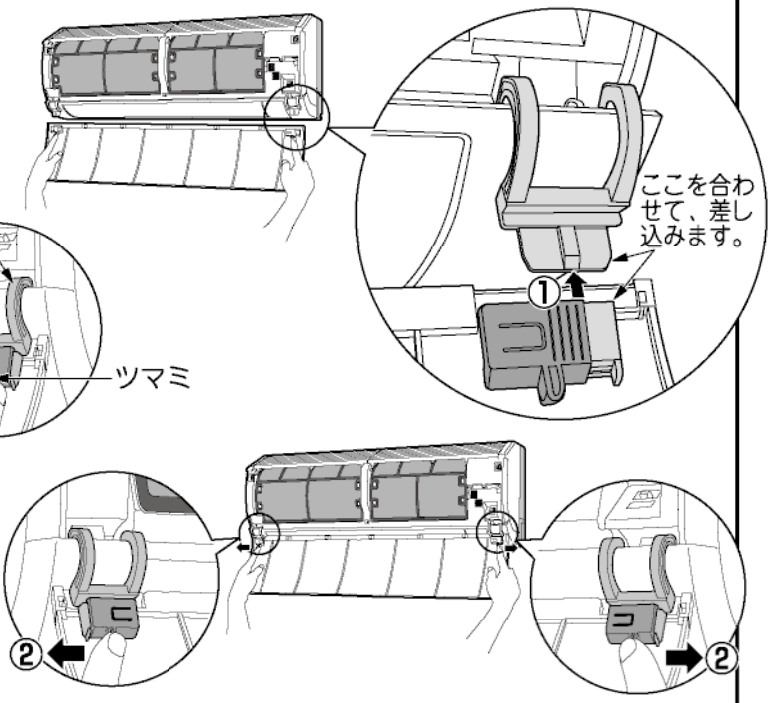
フロントパネルの着脱のしかた　●フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

外す（フロントパネルの開閉のしかた ☞11ページ）



①フロントパネルの左右を持って、両側のヒンジのロック部ツマミを内側（矢印の方向）にスライドさせ、ロックを外します。
②フロントパネルを矢印の方向に移動させ、ヒンジから引き抜きます。

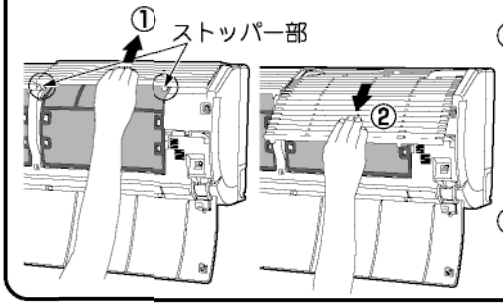
取り付ける



①フロントパネル左右両側のロック部をヒンジに差し込みます。
②左右のロック部ツマミを外側（矢印の方向）にスライドさせ、ロックします。

上面グリルの着脱のしかた（フロントパネルの開閉のしかた ☞11ページ）

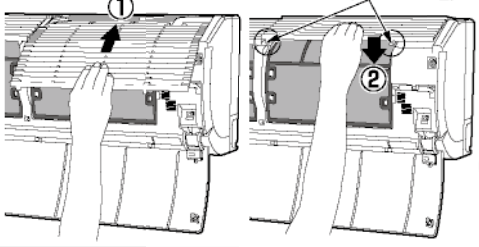
外す



①上面グリルを押しながら上方に持ち上げ、ストッパーを外します。
②手前に引き出します。

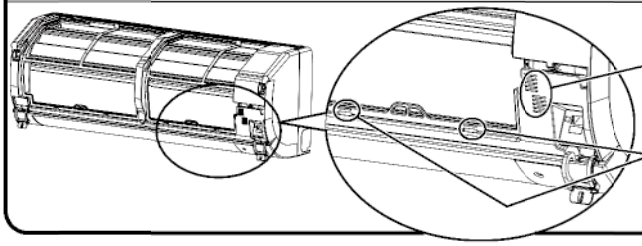
取り付ける

（上面グリルは左・右で形状が異なります。刻印してある「左」「右」の文字を確認して取り付けてください。）



①上面グリルは「上」表示を奥側にして、室内機の上面に合わせてスライドさせて押し込みます。
②上面グリルを下に押し下げストッパーに固定します。

室内機の熱交換器を洗浄するときは



●エアコン内部洗浄剤で室内機の熱交換器を洗浄するときは、奥に電気部品などがありますので、左の場所をテープなどで目貼りをして洗浄液が入らないようにしてください。

⚠注意

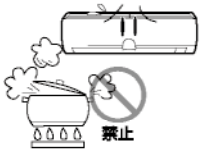
- **不安定な台に乗って掃除をしない**　転倒などによるケガの原因になります。
- **本体に水をかけない**　感電の原因になります。
- **エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談する**（☞31ページ）
- **室内機の熱交換器の洗浄には、指定された洗浄剤（SP-SSP1）を使用する**
  指定以外の市販の洗浄剤は絶対に使用しないでください。
- **熱交換器を洗浄したり掃除機で清掃する際には、熱交換器のフィンで手などにケガをしないように手袋を必ず着用する**

運転のしくみと知っておいていただきたいこと

各部の名称と働き1 (☞6 7ページ)

ご注意

ストーブなど、高温になるものは、室内機の下では使わないでください。



■ 暖房の能力について

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具との併用をおすすめします。
- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをおすすめします。(☞18 19ページ)
- 外気温が下がり湿度が高いときは、室外機の熱交換器に霜が付き、そのままでは暖房効果が下がりますので、自動的に霜取り運転を行います。そのため、いったん暖房運転は止まり、もとの暖房運転に戻るまで約5～10分程度の時間がかかります。

■ 冷房・カラッと除湿・涼快の能力について

- 室内に冷房能力以上の熱源(多くの人が居る・熱器具を使う)がありますと、“設定湿度”に到達しないことがあります。
- 室内に除湿能力以上の熱源及び湿気の侵入、発生がありますと“設定湿度”に到達しないことがあります。

リモコンの準備をしてください (☞9 10ページ)

- 一部屋にエアコンを2台設置したときなどリモコンの混信を防ぎたいときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 月日・現在時刻を設定しないと自動運転のニューロ&ファジィ制御が正しく働かず、運転の種類や設定温度が適切に設定されません。
  (自動運転のニューロ&ファジィ機能は、室温・外気温・月日の組み合わせから、よりよい運転モードと設定室温を選択するので、月・日・現在時刻は必ず合わせてください。)
- 月日・現在時刻を設定しないとタイマー予約運転(☞18 19ページ)やおやすみタイマー運転(☞17ページ)はできません。
- 月日や時刻の設定の途中では、タイマー予約運転・おやすみタイマー運転ができません。
- 月日は何れの年でも1年を365日としておりますので、うるう年の2月29日には3月1日と表示されます。その場合は、月日を2月29日に修正してください。(修正後翌日は自動的に3月1日となります。)

自動運転をするには (☞12ページ)

暖　房	●室温が約23℃以下のとき、暖房運転を行います。設定温度を約23℃前後とします。
カラッと除湿	●室温が約22℃～26℃のとき、「カラッと除湿」運転を行います。設定温度は運転開始時の室温とします。「カラッと除湿」の「かいてき除湿」と同じ運転を行います。
冷　房	●室温が約27℃以上のとき、冷房運転を行います。設定温度を約27℃前後とします。

※運転の種類や設定温度は、室温・外気温・月日によって変わります。
※「カラッと除湿」の設定になった場合に、お部屋の湿度があまり高くないときは、運転しないことがありますが、これは故障ではありません。

■ 風速[自動]について

暖房時	●吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ●設定温度になると、ごく弱い風になります。
冷房時	●運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいときは“強風”運転をします。 ●設定温度に到達すると“弱風”に切換わります。
カラッと除湿・涼快時	●設定温度を室温より低く設定したときは“弱風”で、高く設定したときは“微風”になります。

手動運転をするには (☞13ページ)

- 運転中に[運転切換]ボタンを押すと、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の「運転」ランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。(☞7ページ)
- 暖房の風速“強”運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速“自動”でお使いになることをおすすめします。
- 風速“微”“静”運転時は、能力が少し低下します。
- カラッと除湿・涼快運転時には、室外ファンが低速運転または停止することがあります。
- 暖房運転の風速“微”“静”では、運転条件によって、風速が変化することがあります。

■ 次の条件のご使用がおすすめです。

暖　房	カラッと除湿	冷　房	涼　快
●外気温－10℃以上、21℃以下 (－10℃以下のときや、24℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。)	●外気温1℃以上 (室温1℃以下では運転しません。)	●外気温22℃以上	●外気温25℃以上

上手な使い方

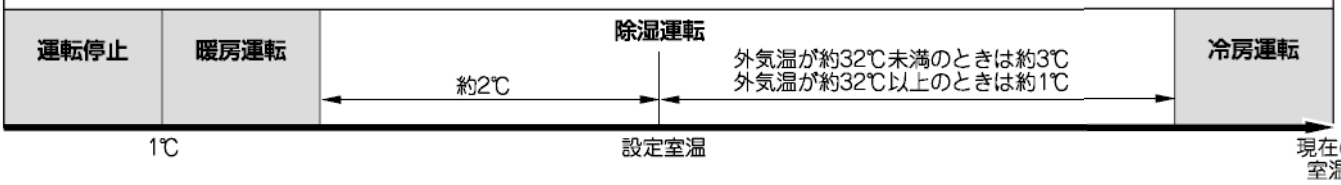
カラッと除湿運転をするには (☞14ページ)

運転の種類	このようなときに	運転のしくみ
かいてき除湿	●ジメジメするとき	●ボタンを押したときの室温をほぼ設定温度とします。 （室温12℃以下は13℃、13℃～22℃は室温＋2℃、23℃～26℃未満は室温、26℃以上は26℃。） ●目標湿度は、約50～60%です。目標湿度前後まで下がれば、運転を停止します。上がれば運転を再開します。 ●温度コントロールするために、自動的に冷房または暖房に切り換えることがあります。（下図を参考してください。）
快速ランドリー	●洗濯物の乾燥を早めたいとき	●外気温、室温、湿度を検知して暖房と強力除湿の最適な組み合わせを自動的に選んで運転します。 ●洗濯物の乾燥を優先して運転を行います。 室温・湿度が一時的に上がりますので、お部屋に人がいないときにお使いください。 ●3時間のタイマーになっています。
けつろ抑制	●冬、窓にできる結露を抑制したいとき	●結露を抑えるため、湿度を下げる運転を最優先しますので、室温は下がります。 室温1℃以下になると運転を停止します。 ●2時間のタイマーになっています。
40%除湿	●もう少し湿気を取りたいとき	●ボタンを押したときの室温をほぼ設定温度とします。 （室温12℃以下は13℃、13℃～22℃は室温＋2℃、23℃～26℃未満は室温、26℃以上は26℃。） ●目標湿度は、約40%です。目標湿度前後まで下がれば、運転を停止します。上がれば運転を再開します。 ●温度コントロールするために、自動的に冷房または暖房に切り換えることがあります。（下図を参考してください。）

※在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定湿度を変えても設定室温に到達しないことや、設定湿度にならないことがあります。

- すでに結露した露を除去する効果はありません。（けつろ抑制運転）
- 洗濯物の量や材質によっては、乾きが遅くなる場合があります。（快速ランドリー運転）
- 外気温が低いときに、けつろ抑制運転を行うと、室温が下がりますので注意してください。
- カラッと除湿（かいてき除湿、快速ランドリー、けつろ抑制運転、40%除湿）運転中は、時刻で設定する切入タイマー予約（☞18 19ページ）はできません。ただし、かいてき除湿、40%除湿運転はおやすみボタンを使って、1、2、3時間、おやすみ（7時間見張り）のおやすみタイマーが設定できます。また、快速ランドリー、けつろ抑制運転はおやすみボタンを使って、1、2、3、7時間タイマーに変えることができます。
- タイマーを予約しているときに、運転ボタンを押すと、タイマーの時刻とは関係なく、カラッと除湿運転を開始します。（☞20ページ）
  運転/停止ボタンでカラッと除湿運転を停止した後は、タイマー予約はカラッと除湿運転前の設定に戻ります。
- 除湿しながらお好みの湿度・湿度に設定したい場合には、手動運転の「カラッと除湿」をおすすめします。（☞13ページ）

温度をコントロールするために、自動的に冷房または暖房運転に切り換えることがあります。
また、この切り換えの際、お部屋の湿度が10%程度変動する場合があります。



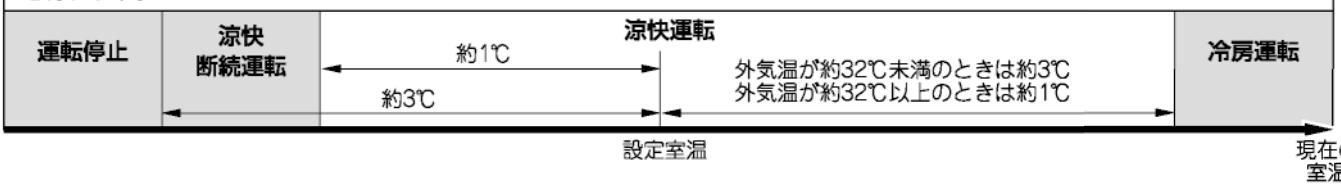
涼快運転をするには (☞15ページ)

設定温度	室外の温度と室内の温度を検知して、1時間ごとに24℃から28℃の範囲で設定します。	●室温が設定温度に達しても、設定湿度にならない場合は運転を続けることがあります。
設定湿度	設定温度が27℃以上の場合は50% 設定温度が26℃の場合は55% 設定温度が25℃以下の場合は60% に設定します。	

※在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定室温や設定湿度にならない場合があります。

- 涼快ボタンで運転開始した涼快運転中は、時刻で設定する切入タイマー予約（☞18 19ページ）はできません。
  涼快運転で切タイマーを予約したい場合は、手動運転の涼快運転で予約してください。
- タイマーを予約しているときに涼快ボタンを押すと、切入タイマーの時刻とは関係なく、涼快運転を行います。（☞20ページ）
  運転/停止ボタンで涼快運転を停止した後は、タイマー予約は涼快運転前の設定に戻ります。
- 室温が“設定温度”より低いときは、湿度が“設定湿度”より高くなっても運転しないことがあります。
- 室温を下げたいときや、湿度よりも室温を優先させたい場合は、冷房運転をおすすめします。

温度をコントロールするために、自動的に冷房運転に切り換えることがあります。
また、室温が設定温度より低い場合は、室温の低下を抑え湿度をコントロールするために、断続運転（運転と停止の繰り返し）を行います。



…運転のしくみと知っておいていただきたいこと（つづき）

エアコンクリーン運転をするには （☞15ページ）

- エアコンクリーンを設定しておくと、冷房・カラッと除湿・涼快運転を行った後で運転を停止させると、自動的にエアコンクリーン運転を開始します。最初に冷房運転で室内熱交換器に付着したにおいの成分を洗い流し、続いて、除湿運転・暖房運転・保温（室内ファンおよび室外機停止）・送風運転を行い、室内機内部のカビの発生を抑えます。
- 外気温が低い場合は、冷房運転、除湿運転を行わないことがあります。
- 入タイマーを予約した場合は、予約した時刻の2時間前からエアコンクリーン運転は行いません。
- 下記の条件で運転停止した場合は、エアコンクリーン運転は行いません。
（暖房運転、イオンサプライ空気清浄運転、快速ランドリー運転、けつろ抑制運転、切タイマーでの運転停止、おやすみ による運転停止）

カビ見張り運転をするには （☞16ページ）

- カビ見張り運転を設定すると、約20分間に1回、約3分間の送風運転を行い室温・湿度を検知します。
（上下風向板は閉じたままです。）
- 最初の運転は、検知した結果が、室温10℃以上、湿度70%以上のとき、除湿運転を連続して4時間行います。2回目以降は検知した結果が、室温10℃以上、湿度70%以上であれば、除湿運転を行い、湿度が低下すると停止します。
- カビ見張り運転の設定時間は、1回で2週間です。（カビ見張 設定中にリモコン操作をしたときは、そこから2週間となります。）
- カビ見張り除湿運転を設定中に、運転が一時停止してから約20分間は湿度が60%を超えてもすぐには運転を再開しません。
- 発生したカビを除去する働きはありません。

おやすみタイマー運転をするには （☞17ページ）

- おやすみタイマー予約をしたときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機の「タイマー」ランプでおやすみタイマー予約したことを確認してください。（☞7ページ）
- おやすみタイマー設定時に、上下風向板のスイングを設定したときは、冷房・カラッと除湿・涼快運転時の1hモアタイマー運転時、または暖房運転時のおやすみ（7時間見張り）運転における再運転時にはスイングしません。
- おやすみタイマー設定時に、エアコンの運転（冷房・カラッと除湿・涼快・暖房）とイオンサプライ空清運転を組み合わせて設定したときは、冷房・カラッと除湿・涼快運転時の1hモアタイマー運転時、または暖房運転時のおやすみ（7時間見張り）運転における再運転時には、風速を上げて空気清浄能力を増した運転は行いません。

■ おやすみ学習

- 冷房・カラッと除湿・涼快運転時の1hモアタイマー運転時、または見張り中にリモコン操作をした場合に1hモアタイマー運転の開始条件と運転内容を見直し、お好みの内容に近づけます。
- 暖房運転時のおやすみ（7時間見張り）運転における再運転中、または見張り中にリモコン操作をした場合に再運転の開始条件を見直し、お好みの内容に近づけます。

- 運転内容

運転の種類	補正	補正条件	補正内容
冷房 カラッと除湿 涼快	あつがり補正	●見張り中にリモコンの運転/停止ボタンで運転したとき ●1hモアタイマー運転中にリモコンで設定温度を下げたとき	●1hモアタイマー運転の開始湿度を低くします。 ●さむがり補正で1hモアタイマー運転の設定温度が高くなっているときは、設定温度を低くします。
	さむがり補正	●1hモアタイマー運転中にリモコンの運転/停止ボタンで運転を停止したとき ●1hモアタイマー運転中にリモコンで設定温度を上げたとき	●1hモアタイマー運転の開始湿度を高くします。 ●1hモアタイマー運転の設定温度を高くします。
暖房	あつがり補正	●再運転中にリモコンの運転/停止ボタンで運転を停止したとき	●再運転の開始温度を低くします。
	さむがり補正	●見張り中にリモコンの運転/停止ボタンで運転したとき	●再運転の開始温度を高くします。

- 前回と異なる運転の種類内容でおやすみ運転をしたとき、補正内容はキャンセルされます。

タイマー予約運転をするには （☞18 19ページ）

- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機の「タイマー」ランプで、タイマー予約したことを確認してください。（☞7ページ）
- タイマー予約中にカラッと除湿（かいてき除湿）や涼快運転を行おうとしたときには、タイマー予約時間は液晶表示から消えますが、タイマー予約が取り消されたわけではありません。
カラッと除湿（かいてき除湿）や、涼快運転を停止したときにタイマー予約は再び表示されます。

リモコンのロックを設定するには （☞21ページ）

- ロックを設定するときには、設定する運転状態を確認してからセットしてください。運転中は、ロックは受け付けません。
- タイマーはロックできません。タイマー予約しているときにロックは受け付けません。

上手な使い方

「適切な室温」が、からだにも家計にもグッド。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

⚠注意 燃焼器具と同時に使うときは、必ず換気を行う

おやすみになるとき、タイマーの有効利用を。

（タイマーの使いかたは☞17〜21ページ）

外出するとき、カビ見張り機能、タイマーの有効利用を。

（カビ見張り運転☞16ページ）

次のものは使わないで！（室外機も同様）

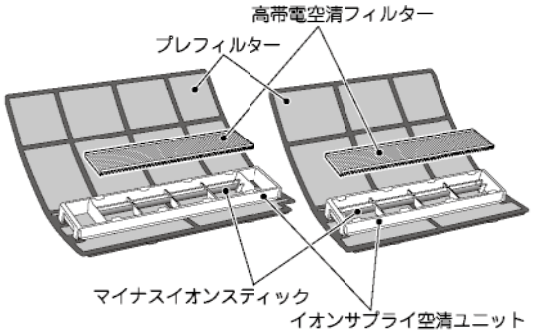
- ベンジン、シンナー、みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

- 室内・室外機の吸い込み口や吹き出し口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

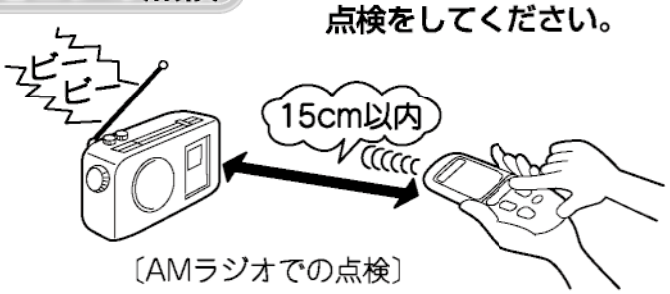
高帯電空清フィルターは、使い捨てです。1年を目安にお取り換えをお勧めします。

- 取り換え用空清フィルターは必ず高帯電空清フィルター（別売）をご使用ください。お買い求めの際は、販売店にご相談ください。
- マイナスイオンスティックは汚れを落とし、そのまま使用できます。



リモコンの点検

■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。



〔AMラジオでの点検〕

（AMラジオの電源を入れた状態で、リモコンを操作したとき、信号音（ピーピー音）が入れば正常です。）

故障かな?と思ったら

■ サービスを依頼する前に　…次のことをお調べください。

送信しない （リモコンの表示がうすい・表示がでない）	①リモコンが電池切れになっていませんか？	9 10 ページ
	②乾電池の ⊕⊖ が逆になっていませんか？	9 10 ページ
運転しない	①電源スイッチまたは、漏電しゃ断器が“切”になっていませんか？	7 ページ
	②電源プラグが差し込まれていますか？	—
	③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	—
	④停電ではありませんか？（停電後は運転が停止したままとなります。）	—
よく冷えない **よく暖まらない**	①プレフィルターにホコリが詰まっていませんか？	22 ページ
	②“設定温度”のセットは適正になっていますか？	13 ページ
	③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか？	16 ページ
	④室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか？	—
	⑤風速が“微”“静”になっていませんか？	13 ページ

■ これは故障ではありません。

暖房運転時、運転ランプが点滅している	**予熱・霜取り運転を行っているためです。**
「シュルシュル」「シャー」「ボコボコ」「プシュ」という音	冷凍液がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。
においがする	室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。
“停止”にしても運転ランプが点滅し、室外機が動いている	オートフレッシュ除霜（“暖房”を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能）が働いているためです。
設定温度にならない	在室人数や室内、室外の条件や、同時に何室か運転している場合は、他室の影響を受けて、リモコンの設定温度と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。

アフターサービス

●以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや右のような現象が出たときは、電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては 29 ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部のタイマーランプまたは、除湿ランプが点滅している。
（点滅回数で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅回数をご確認の上ご連絡ください。）

保証とアフターサービス 必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」（☞31ページ）の担当地域にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

23ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ルームエアコン
形式	RAS-H40S2V6
お買い上げ日	年　月　日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　）　－
訪問希望日	

※形式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

再据付工事のお申し込みは

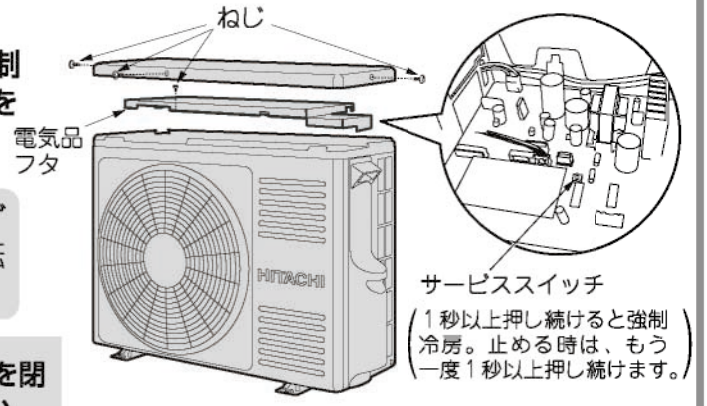
販売店に再据付工事（転居または別の部屋への接続）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制冷房運転

（販売店で行う操作です。）

■ 室外機のサービススイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

- サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。



⚠注意 サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

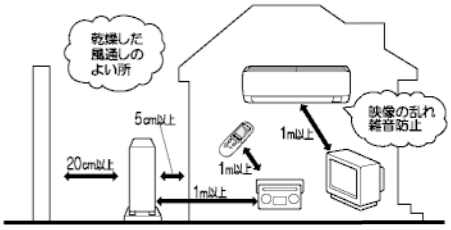
据え付けについて

⚠警告

- **据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する**
  費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **据付場所については、販売店とよく相談して決める**
- **アース（接地）を確実に行う**
  感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。
  1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。



- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯、油煙の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。

⚠注意

- **室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない**
  引火や爆発のおそれがあります。
- **特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）には使用しない** ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

⚠警告

- **万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う**
  アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。
  アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
  詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **次のような場所にアース線を接続しない**
  ①水道管
  ②ガス管…爆発のおそれがあります。
  ③電話線のアースや避雷針…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- **漏電しゃ断器を設置する**
  据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法律で義務づけられています。
  詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
  詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検／お客様ご相談窓口

■ 半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

コンセント

●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

⚠警告 **電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります。**

●電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。

アース線

●アースが確実に行われていますか？

⚠警告 **アース（接地）が正しく接続されているかを確認する**
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

据付台

●据え付けが不安定になっていませんか？

⚠警告 **据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する**
室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。

点検整備 …エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

⚠注意 **通常のお手入れと別に点検整備を行う**
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

●通常のお手入れと別に、点検整備をお勧めします。

⚠注意 **点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する**
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

●室内機の熱交換器の洗浄には、指定された洗浄剤(SP-SSP1)をお使いください。熱交換器を洗浄したり掃除機で清掃する際には、熱交換器のフィンで手などにケガをしないように手袋を必ず着用してください。また、指定以外の市販の洗浄剤は絶対に使用しないでください。
●点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センター へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌2条4−1−10
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町1−1−45
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野2−7−5（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町1−3−8
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町1−7−17
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町4285−143
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町7−18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称，所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

仕　様

形名		室内機	室外機
		RAS-H40S2V6	RAC-H40S2V6
電源 (V)		単相200	
定格周波数 (Hz)		50・60共用	
冷房能力 (kW)		4.0	
中間冷房能力 (kW)		1.9	
冷房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	28	
	木造南向き和室	18	
暖房標準能力 (kW)		6.0	
中間暖房標準能力 (kW)		2.9	
暖房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	27	
	木造南向き和室	22	
運転電流 (A)	冷房	5.8	
	暖房	9.2	
消費電力 (kW)	冷房	1.045	
	中間冷房	0.330	
	暖房標準	1.650	
	中間暖房標準	0.520	
運転音 (dB)	冷房	46	49
	暖房	46	50
外形寸法(㎜)(高さ×幅×奥行)		280×780×227	600×792×299
製品質量 (kg)		9	42

●この仕様表は、JIS(日本工業規格)にもとづいた数値です。
●運転停止中の消費電力は、1Wです。(電源スイッチまたはブレーカーOFF時は0W)

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことはありませんか

- コゲ臭いにおいがする。
  電源コード、プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 室内機から水漏れがする。
- 漏電しゃ断器がひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて(またはブレーカーを"OFF"にして) 必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
　2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	形名	
購入店名	電話　(　)		

日立 ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

RAS-H40S2V6

HITACHI
日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。

HFC採用エアコン

室内機　　室外機

RAS-H40S2V6形＋RAC-H40S2V6形

据付情報
●ＨＡシステムへ接続するには、機種専用別売のHA接続コードが必要です。

据付工事に必要な工具（◉印はR410A専用工具）

●⊕⊖ドライバー　●巻き尺　●ナイフ　●ペンチ
●パイプカッター　●六角棒スパナ(呼4)　●Pカッター
●φ65㎜ホールコアドリル　●真空ポンプ
●スパナ(口径14、17、19、22㎜)　●トルクレンチ
◉ポンプアダプタ　◉フレアリングツール　◉ガス漏れ検知器
◉マニホールドバルブ　◉チャージホース

安全上のご注意　必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存頂くように依頼してください。

⚠ 警告

●**据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●**据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う**
据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●**据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う**
強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下により、けがの原因になります。

●**電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**
電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災などの原因になります。

●**室内外機間の配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
接続や固定が不完全な場合は、発熱や火災などの原因になります。

●**設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品（別売部品等）を使用する**
当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下、水漏れ、感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。

●**エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R410A)以外の空気などを混入させない**
空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。

●**配管・フレアナットは、必ずR410A指定のものを使用する**
破裂やけがなどの原因になります。

●**作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う**
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

●**設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

●**アース（接地）を確実に行う**
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠ 注意

●**設置場所によっては漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

●**可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しない**
万一ガスが漏れて室内外機の周囲にたまると、発火の原因になります。

●**排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う**
不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になります。

●**フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けること**
フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

据付場所の選定

（下記の点に注意し、お客さまの同意を得て据え付けてください。）

室内機

⚠ 警告

●本体を十分ささえられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

⚠ 注意

●近くに熱の発生がなく、吹き出し口付近をふさがないところ
●本体の上、左、右に下図の ⟷ 印の間隔をあけられるところ
●ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができるところ
●室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
画像の乱れや雑音が入ることがあります。
●高周波機器、高出力の無線機器などからはできるだけ離す
エアコンが誤動作する場合があります。
●電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります

室外機

⚠ 警告

●室外機の重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところに据え付ける

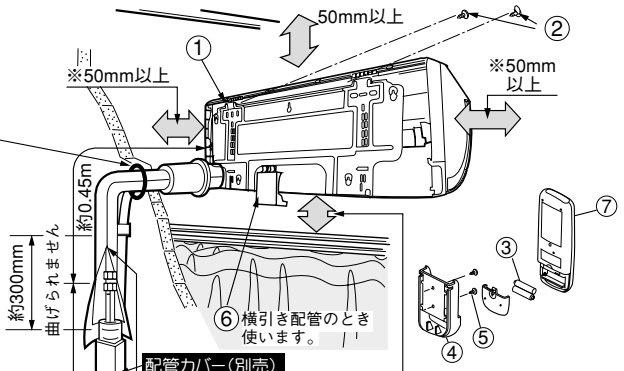
⚠ 注意

●雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ
●吹き出した風が直接動物や植物にあたらないところ
●本体の上、左、右、前、後に下図の⟷印の間隔をあけられ、2面以上開放できるところ
●吹き出した風や騒音がご近所のめいわくにならないところ
●可燃性ガスの漏れる恐れのないところや、蒸気や油煙などの発生しないところ
●排出されたドレン水が流れても問題のないところ
●室外機およびFケーブルはテレビ、ラジオ、インターホン、電話などのアンテナ線や信号線、電源コードなどから1m以上離す
ノイズで影響をおよぼす場合があります。

番号	付属部品	員数
①	据付板	1
②	据付板固定ねじ (4×25)	5
③	乾電池(単4)	2
④	リモコン取付具	1
⑤	リモコン取付具固定ねじ	2
⑥	配管押さえ	1
⑦	リモコン	1
⑧	電源スイッチ固定板	1
⑨	高帯電空清フィルター	1
⑩	保冷用断熱材	1
⑪	マイナスイオンスティック	2
⑫	ブッシュ	2
⑬	ドレンパイプ	1

※⑫⑬は室外機に同梱

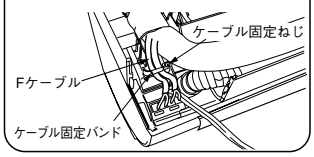
室内・室外機据付図(平地置台設置例)



すき間がないよう確実にシールしてください。

右図の⟺印寸法はエアコンの運転を保証するために必要な寸法です。後々のサービス、補修等を考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。

Fケーブルの接続



カーテンレール、カーテンボックス等の上に設置する場合は、風の流れを損なわない寸法を確保してください。

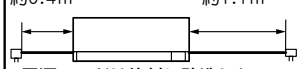
横引きなど室内を通す配管は、保冷用断熱材をかぶせてください。
(保冷用断熱材が不足するときはサービスパーツ品RAS-228FX 017を使用してください。)

室外機の下側はできるだけ風が通らないようにしゃ閉すると、より暖房効果があがります。

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム(別売部品)を入れてください。

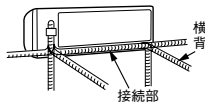
アース棒	長さ
SP-EB-1	450㎜
SP-EB-2	900㎜ (D種接地工事推奨品)

電源コードの長さ



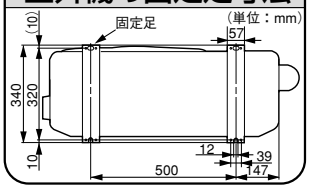
電源コードは絶対に改造しないでください。

配管引出し方向



配管は後直引き、左および右下引き、左および右横引きの6方向に可能です。

室外機の固定足寸法



冷凍機油は水分に弱いため、サイクル内に水が入らないようにしてください。
●室内機と室外機の高低差は8m以内にしてください。
●配管は必ず細径側、太径側ともに断熱したものを使用し、表面にテープを巻いてください。
テープを巻かないと、断熱材が早く劣化してしまいます。

断熱付ドレンホースの接続

横引きで室内を通す部分は断熱付ドレンホース(サービスパーツ品RAS-2210MX 039)を使います。

室内機の据え付け

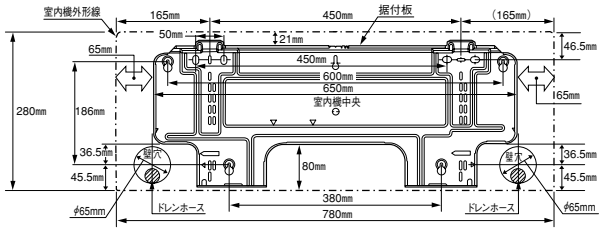
1 据付板の取り付け・壁穴あけ・保護パイプの取り付け

⚠注意

●本室内機はドレンホースを左右どちらにも取り付けられる構造となっています。室内機を据え付ける際は、必ず水平または、ドレンホースを取り付ける側を若干下に傾けて据付板を固定する
ドレンホースを取り付ける側を上方に傾けて据え付けた場合、水漏れとなる恐れがありますのでご注意ください。

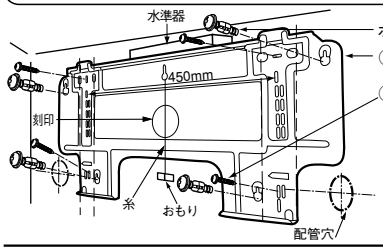
壁に直付する場合

●壁内の構造体（間柱など）をさがして、据付板を固定します。
●間柱などをさがすのが困難なときは、ボードアンカー（市販品）等をご使用ください。
●公団アパート用穴を使用する場合は、アンカーボルトの壁からの出張り寸法が15mm以下になるようにカットしてください。



ボードアンカーの止め穴

●据付板を壁に当てたまま、ボードアンカーを壁に埋め込みます。
●据付板を下側にずらしてから、ボードアンカーで据付板を固定します。

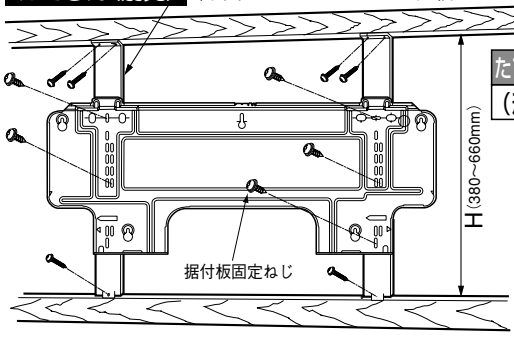


ねじ止めは、できるだけ室内機をひっかける上下の爪の付近で行ってください。また、4本以上のねじで固定してください。

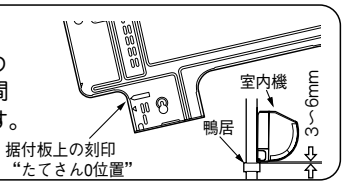
回り縁と鴨居に据え付ける場合

●回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、据付板とたてさん上下を仮組みします。
●回り縁と鴨居を利用してたてさん上下を仮止めします。
●水平を確認してから固定します。

たてさん（別売）（下図のねじはたてさんに同梱しています。）



据付板の刻印“たてさん0位置”をたてさん上の目盛“0”に合わせると、室内機と鴨居のすき間が小さくきれいに仕上がります。

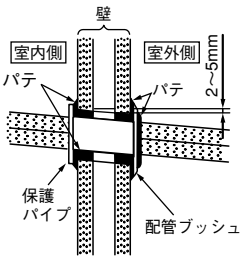


壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

⚠警告

●**保護パイプ（市販品）は必ず使用する**
接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電や火災の原因となります。
●**パテで完全にシールする**
壁内や室外の高湿空気が室内に浸入し露たれの原因になります。また、壁内や室外の臭いが室内に浸入する原因となります。

●φ65㎜の穴を外側に下がりぎみにあけます。
●保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
●雨水や外気の侵入等がないようパテで完全にシールして配管ブッシュを付けます。

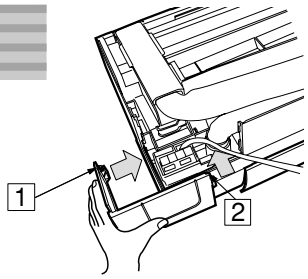


2 室内機の据え付け

① 据え付けの準備

下カバーの取り外し

●下カバーは 1、2 部を押しつつ手前に引いて取り外します。

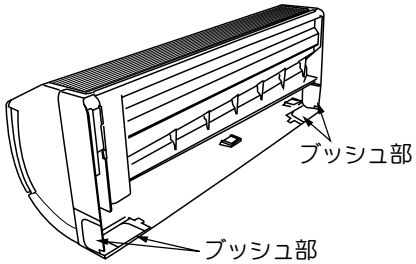


⚠注意

●**ドレンホースとドレンキャップは確実に挿入する**
挿入が悪いと水漏れの恐れがあります。

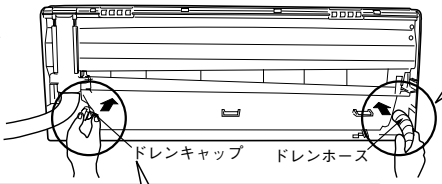
下カバーブッシュ部の切断（横引き、下引きの場合）

●右または左、あるいは下引き配管時は下カバーのブッシュ部をＰカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

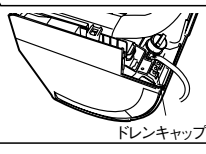


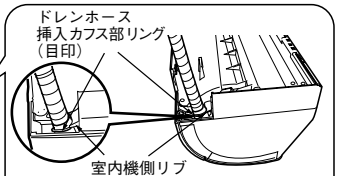
ドレンホースの付け替え（横引きの場合）

●横引き配管時はドレンホースとドレンキャップを下図のように付け替えてください。
●ドレンホースの横引き配管は行わないでください。



●下カバーをはずして行います。
●ドレンキャップを突き当たるところまで確実に挿入してください。





●ドレンホースカフス部リング（目印）が、室内機側リブをのり越えるまで確実に押し込んでください。

●ドレンキャップはペンチを使って回しながら抜きますと簡単に抜けます。

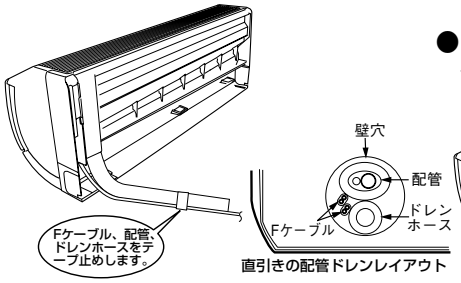
室内機の据え付け(つづき)

配管の準備

(裏面の配管の切断とフレア加工および配管の接続を参照)

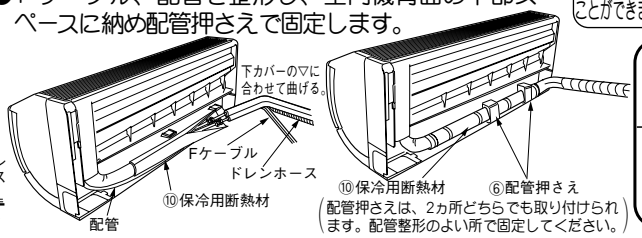
直引き・下引きの場合

●Fケーブルを接続します。
(裏面のFケーブルの接続方法を参照)
●配管を整形し、Fケーブル、ドレンホースとテープで仮止めします。



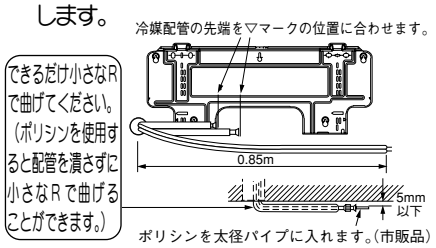
配管を接続してから据え付ける場合 (横引きの場合)

●冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形し接続します。
●配管接続部を保冷用断熱材で割りを上にして覆い隙間のないようにテープ巻きします。
テープは締め過ぎないように巻きます。
(本面下の配管の断熱と仕上げを参照)
●Fケーブルを接続します。
(裏面のFケーブルの接続方法を参照)
●Fケーブル、配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納め配管押さえで固定します。



室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

●冷媒配管とFケーブルを整形しセットします。



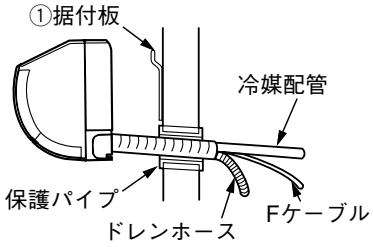
⚠注意

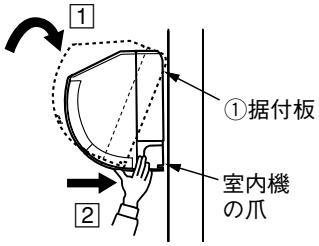
●ポリシンを使用する場合は削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入すること

② 据え付け

室内機の背面以外で冷媒配管を接続する場合

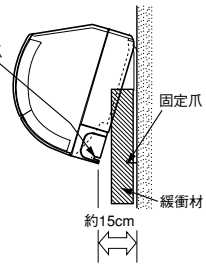
●壁穴に配管を通します。
1 室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
2 室内機下部を壁に押しつけ、室内機の爪を据付板にはめこみます。

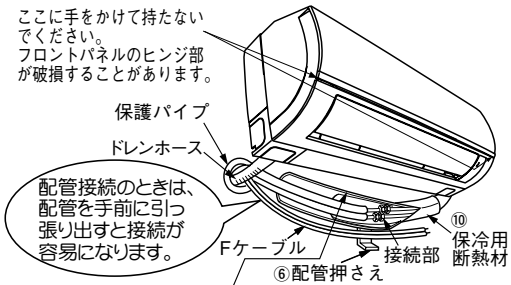


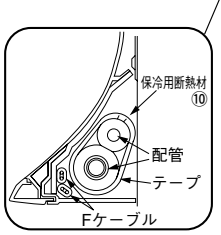


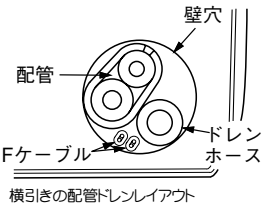
室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

室内機を据付板に引っ掛けます。
室内機背面右側に緩衝材または、ダンボールなどをはさみこみ、室内機の下部を手前に約15㎝ぐらい浮かします。
●ドレンホースを壁穴に挿入します。
●冷媒配管を接続します。(裏面の配管の接続を参照)
●配管接続部は保冷用断熱材で割りを上にして覆い隙間のないようにテープ巻きします。(本面下の配管の断熱と仕上げを参照)
●Fケーブルを接続します。(裏面のFケーブルの接続方法を参照)
●Fケーブル、配管を整形し、室内機背面の下部スペースに納めます。
●はさんだ物を外し、室内機下部を据付板の固定爪にはめこみます。



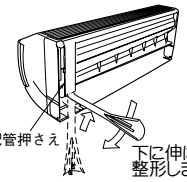






⚠注意

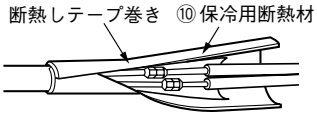
●配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎないこと
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。
●室内機の下部を手前に引っ張って据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認するはめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。
●配管整形時には、配管押さえの下端部を手で押さえながら、整形してください。

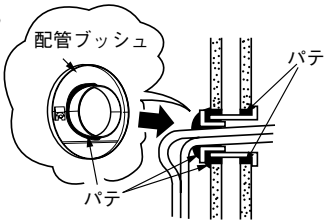


3 配管の断熱と仕上げ

●配管接続部は保冷用断熱材で覆い、隙間のないようテープ巻きします。
●テープは締め過ぎないように巻きます。隙間があったり締め過ぎたりすると露たれの原因になります。
●室内・室外機据付図のように配管・Fケーブル等をテープ巻きし、壁に固定します。
●ドレンホースや配管が押入れや廊下など室内を通る場合は、露付き防止のため保冷用断熱材(不足するときはサービスパーツ品 (RAS-228FX 017)で覆い断熱の強化をしてください。

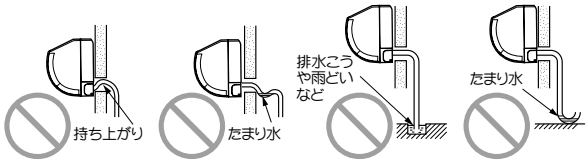
●壁穴部と、配管ブッシュ・配管のすき間を(配管カバー(市販品)を使用した場合も)パテにて完全にシールしてください。シールが完全でないと、壁内や室外の高湿空気が侵入し、露たれの原因になります。
また、壁内や室外の臭いが室内に浸入する原因になります。





4 排水の確認

室内機の据え付け終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。
(確認を怠ると水垂れの恐れがあります。)



据付終了後ドレンホースの抜けやたるみのないことを確認してください。

⚠注意

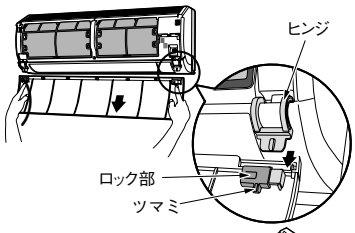
●ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う
確認を怠ると、水垂れとなることがあります。
●左図のような不具合がないことを確認する
ドレン詰まりをおこし、水垂れとなります。
●ドレンホースは1/25以上の勾配をとること

室内機の据え付け（つづき）

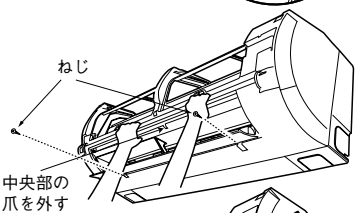
化粧カバーの外しかた

1フロントパネルを取り外します。
（取扱説明書P.23を参照してください。）
●フロントパネルの着脱は、必ず両手で行ってください。

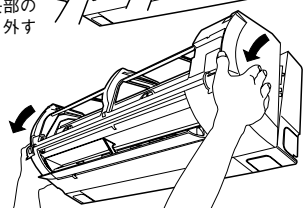
2フィルター（イオンサプライ空清ユニット付）、上面グリルを取り外します。
（取扱説明書P.11、23を参照してください。



3化粧カバー下部のねじを2本外した後、化粧カバー中央の爪を外します。

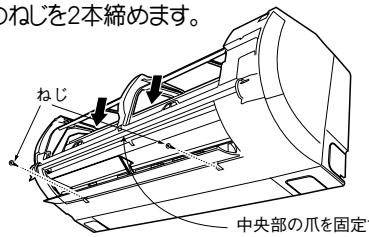


4上面のツメ（3ヵ所）を外し、化粧カバー両側面に手をかけ、矢印のように引きながら取り外します。

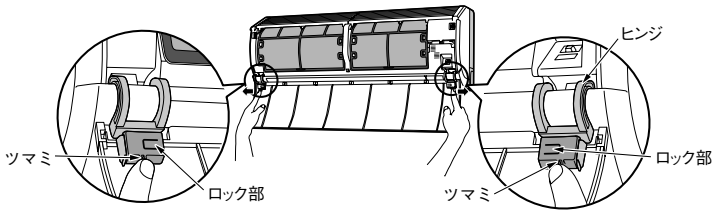


化粧カバーの取り付けかた

❶露皿が確実に取り付けられていることを確認します。
❷化粧カバーを本体にはめ込んだあと、上面のツメ（3ヵ所）を確実にはめ込みます。また、中央部を押して爪を固定します。
❸化粧カバー下部のねじを2本締めます。

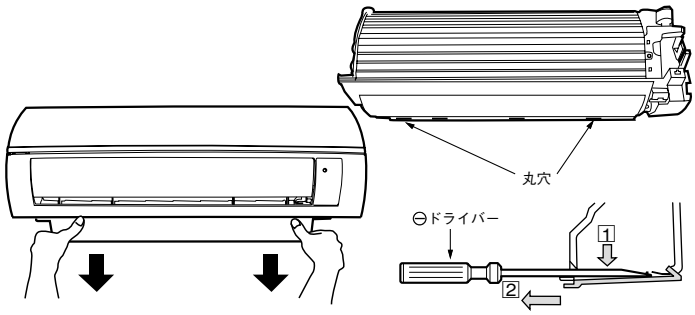


❹上面グリル、フィルター（イオンサプライ空清ユニット付）を取り付けます。
（取扱説明書P.11、23を参照してください）
❺フロントパネルのロック部を室内機ヒンジ穴に差し込み、取り付けます。
確実に取り付いていることを確認したのち、フロントパネルを閉じます。
（取扱説明書P.23を参照してください。）



室内機の外しかた

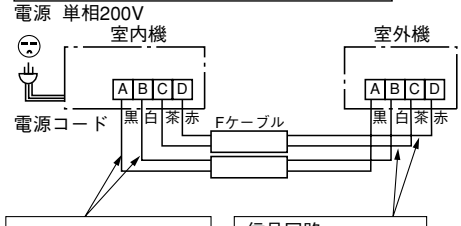
●左右の下カバーを外します。（表面の下カバーの取り外しを参照）
●室内機底面にある PULL の部分を押し下げながら手前に引くと、爪が据付板より外れます。（右図矢印部2ヵ所）
●なげし等で室内機底面を押せない場合は、化粧カバーを取り外し、図のように丸穴にドライバーを挿入し、口爪を下方に押し下げ、2室内機を手前に引っ張ります。このとき横引き配管の場合などに、ドライバー先端で配管、Fケーブルを傷つけないよう十分注意してください。



5 Fケーブルの接続方法

室内機から電源を取る場合も、室外機から電源を取る場合も、電源は単相200Vを使用してください。

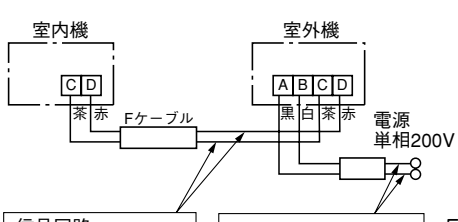
室内機から電源を取る場合



電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

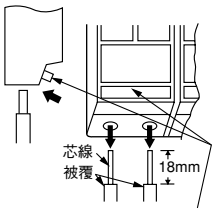
信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

室外機から電源を取る場合

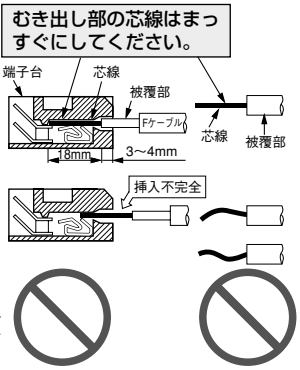


信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

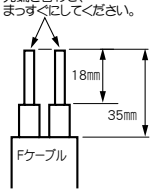


Fケーブルを外す時はこの部分を矢印の方向に押しながらFケーブルを引いてください。



⚠ 警告

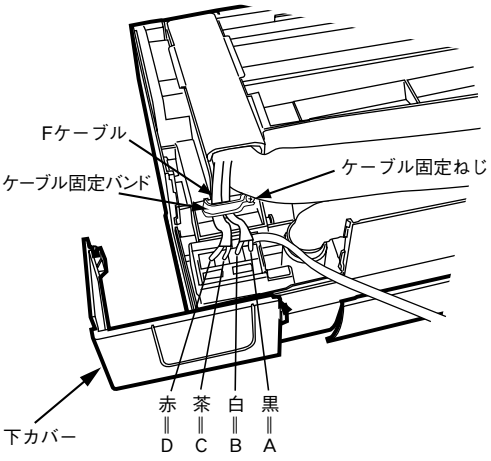
●**Fケーブルは、必ず単線を使用する**
より線を使用しますと、端子台が焼損することがあります。
●**Fケーブルを途中で接続しない**
接続部が過熱し、発煙・発火することがあります。
●**Fケーブルの芯線は18㎜（最小でも17㎜、最大でも21㎜）むき出し、被覆が3～4㎜かくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する**
挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。また、むき出し寸法が17㎜以下ですと接触不足により、端子台が焼損することがあります。
●**Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする**
●**分岐回路はエアコン専用の回路にする**
●**Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う**
●**コンセントは必ず抜いて作業を行う**
室内機から電源を取る場合、電源スイッチが入っていると、FケーブルのAB端子間には常時200Vが印加されています。
●**室外機から電源を取る場合、室内機の電源スイッチを「切」にしても、電源はOFFされないため、そのときはブレーカーを切る**



室内機の据え付け（つづき）

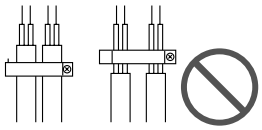
室内機への接続方法

●Ｆケーブルを接続するときは下カバーを外して行います。



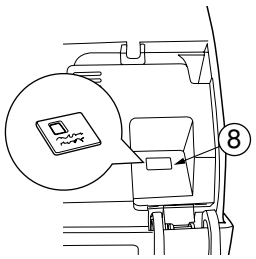
⚠警告

●**Fケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める**
●**ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする**
Ｆケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。



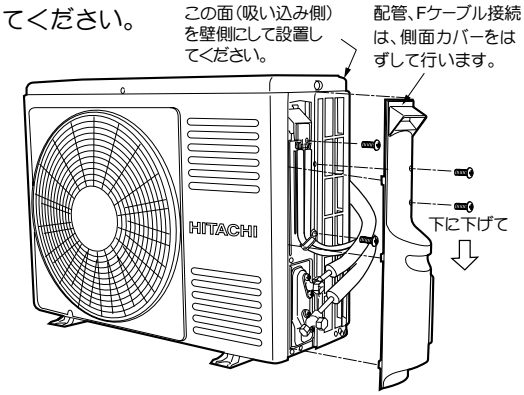
室外機から電源を取る場合

●電源スイッチでは電源をOFFできません。スイッチを「切」の状態にし、⑧電源スイッチ固定板を貼り付け、動かないようにしてください。
●電源コードは不要ですので、据付時に室内機背面の下部スペースに納めてください。なお、移設などで電源プラグを再使用するときに、ホコリの付着や汚れなどを防ぐため、据え付け部材のネジを収納しているビニール袋などで電源プラグを包み、テープ止めしたうえで収納してください。
●室内機ＡＢ端子は接続不要です。



室外機の据え付け

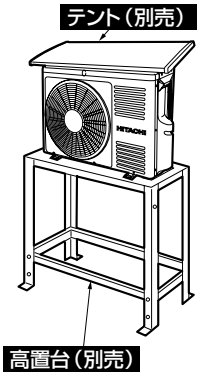
●振動や騒音が増大しないようにしっかりした場所に設置してください。
●配管類を、おおよそ整形して位置を決めてください。
●側面カバーは取っ手を持ち、下方へずらして端部のフックをはずしてから引いてください。取り付けるときは、逆の手順で行います。



⚠注意

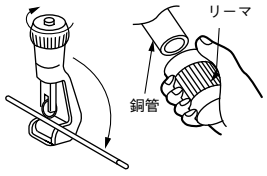
●**室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
ケガの原因になります。

暖房効果を良くするために、雪の多い地方では風通しを妨げないように別売の風雪ガードや高置台を設けてください。
その他の地方では日除けとして別売のテントの取り付けをおすすめします。



1 配管の切断とフレア加工

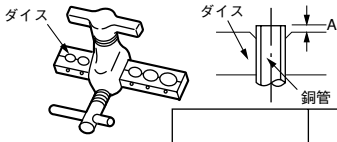
●パイプカッターで切断しバリ取りを行います。



⚠注意

●**バリ取りをする**
バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。
●**切粉が銅管内に入らないように、バリ取り時には銅管を下向きにする**

●フレアナット挿入後フレア加工をしてください。



※R410Ａ用専用工具の使用を推奨します。

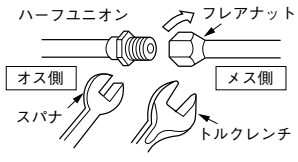
外径（φ）	Ａ（㎜）〔リジット〕	
	R410A用専用工具の場合	R22用専用工具の場合
6.35(1/4インチ)	0～0.5	1.0
9.52(3/8インチ)	0～0.5	1.0

2 配管の接続

⚠注意

●**室内機の配管のフレアナットを外す場合は、細径側パイプを先に外す**
太径側から外すとフレア部のシールキャップが飛ぶことがあります。
●**接続時は水分が入らないようにする**
●**フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける**
フレアナットを締め付け過ぎると長期経過後、フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

●曲げ加工は配管をつぶさないようにしてください。
●接続部に冷凍機油を塗り、中心を合わせフレアナットを手で十分締め付けた後、トルクレンチ（スパナ）で確実に締め付けます。



※締め付けトルクは右表に従ってください。

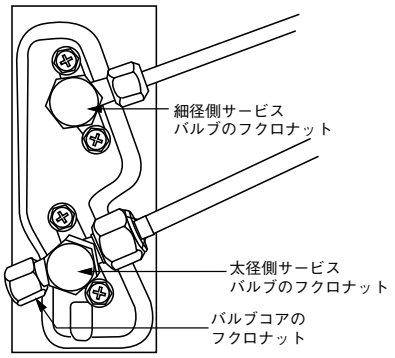
	パイプ外径（φ）	トルクN・m｛kgf・cm｝
細径側	6.35（1/4インチ）	13.7～18.6｛140～190｝
太径側	9.52（3/8インチ）	34.3～44.1｛350～450｝
フクロナット		19.6～24.5｛200～250｝
バルブコアのフクロナット		12.3～15.7｛125～160｝

室外機の据え付け(つづき)

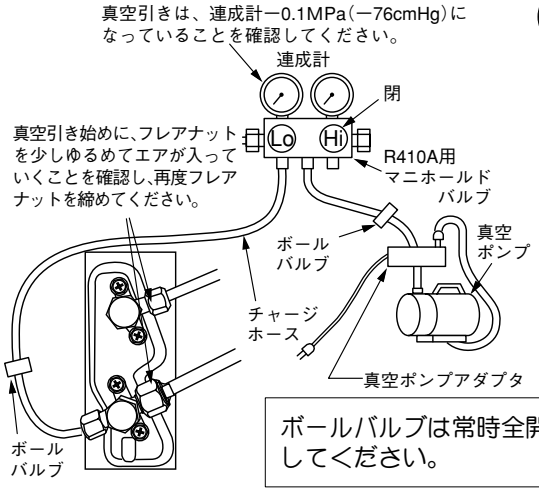
3 エアパージおよびガス漏れ検査

地球環境保護の立場から、エアパージは真空引きポンプ方式でお願いします。

1
- ●サービスバルブのフクロナットを外します。
- ●バルブコアのフクロナットを外し、チャージホースを接続します。
- ●真空ポンプにポンプアダプタを接続し、アダプタにチャージホースを接続します。



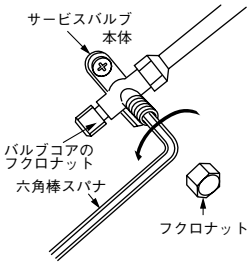
2
- ●マニホールドバルブのハンドルHiを閉じ、Loを全開にして、真空ポンプを運転(アダプタ電源ON)します。
- ●真空引きを10~15分間行った後、ハンドルLoを全閉し、真空ポンプの運転を止めます。(アダプタ電源OFF)

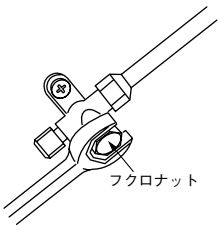


ボールバルブは常時全開にしてください。

3
- ●細径サービスバルブのスピンドルを1/4回転ゆるめ、5~6秒後すばやく締めます。
- ●サービスバルブのチャージホースを外します。

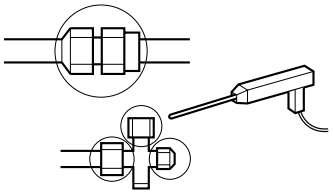
4
- ●両方のサービスバルブのスピンドルを反時計方向に軽く当るまで回し、冷媒通路を開けます。(力いっぱい回す必要はありません。)
- ●フクロナットを元通り締め付けます。
- ●最後に、ガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。





ガス漏れ検査

右図の部分をガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れがないことを確認します。
漏れのある場合は、増締めするなどして、防止してください。(R410A用検知器をご使用ください。)



移設時または、取外し時の作業方法について

地球環境保護の立場から、移設時または取外し時には冷媒の回収(ポンプダウン)を行ってください。

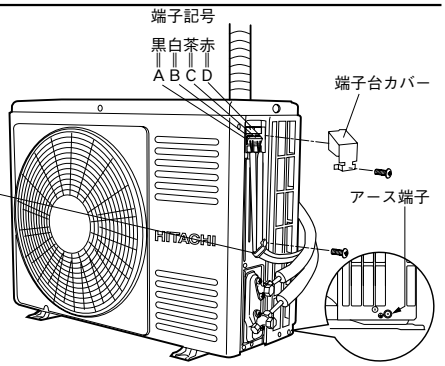
1. 強制冷房運転(仕上げの項参照)で5分間程度の予備運転を行います。
2. 細径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
3. そのまま強制冷房運転を1~2分間行った後、太径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
4. 強制冷房運転を停止します。

4 Fケーブル接続方法

●側面カバー・端子台カバーを外して行います。

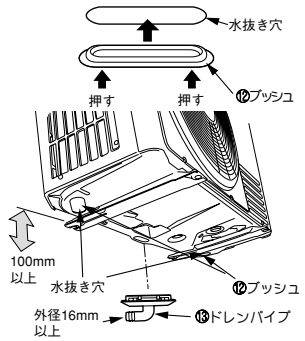
⚠ 警告

●必ずバンドで固定する
固定しないと雨水が電気品に入り感電の原因となります。



5 凝縮水処理

- ●室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう穴があいています。
- ●凝縮水を排水口などに導くときは、平地置台(別売)やブロックなどに載せ地面より100㎜以上上げて据え付け、図のようにドレンパイプを接続してください。その他の水抜き穴(2ヵ所)は、ブッシュでふさいでください。
  ブッシュの取り付けは、図のように水抜き穴に合わせて、ブッシュの両端を押してはめ込んでください。
- ●ドレンパイプを接続する場合は、ブッシュがベースから浮いたり、ずれていないことを確認してください。
- ●室外機は水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。
- **●寒冷地等でご使用の場合**
  特に寒冷地等で寒さが厳しく積雪等が多いと、熱交換器から出る水がベース表面に凍結し、排水が悪くなることがあります。このような地域では、ブッシュは取り付けないでください。
  水抜き穴と地面との距離を250㎜以上確保してください。



仕上げ

1 アースと漏電しゃ断器

⚠警告

●必ずD種接地工事および、漏電しゃ断器設置工事を行う
設置場所によっては、万一漏電したときの感電防止のために法律で定められたD種接地工事と漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。
（アース工事は、必ずアース付きタンデムコンセントを調達のうえ、アース工事を行ってください。）
現地の事情等により、アース付きタンデムコンセントによるアース工事ができない場合は、D種接地工事に適合したアース棒を使用して「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース端子は室外機のベース側面（サービスバルブ側）に付いています。アースをしますと感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
●アース線は、次のようなところに接続しない
(1)水道管　(2)ガス管…引火や爆発の危険があります。
(3)避雷針、電話のアース線…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

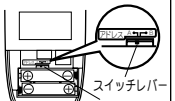
2 リモコンの固定

●リモコンはリモコン取付具で壁や柱に固定することができます。
●リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときは信号がエアコンに確実に受信されることを確認してください。なお、蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。
●電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

取り付けかた

アドレス切換スイッチについて

2台の室内機を同じ部屋に据付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用します。
アドレス切換スイッチは、リモコンの電池ふたを外したところにあります。(出荷時は「A」側に設定されています。)
●アドレス設定(混信防止)の方法
2台の室内機のうち、1台について設定を行います。(もう一方の室内機は電源を切ります。)
①リモコンに乾電池を入れ、リセットスイッチを押します。
(取扱説明書P.8、9を参照してください。)
②リモコンの送受信部を室内機に向けた状態で、アドレス切換スイッチのスイッチレバーを「B」側に動かします。
③「ピッ」という受信音がして、設定が終了します。
●アドレス設定後、リモコン操作をして動作することを確認してください。動作しない場合は、スイッチレバーを「A」側に戻し、再度設定操作を行ってください。



3 電源と試運転およびチェック

電　源

⚠警告

●電源プラグの改造や電源コードの延長は、絶対にしない
●電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにする
●電源コードはステップルなどで固定しない
●電源コードは熱を発生しやすいため、針金やビニタイなどでまとめない

⚠注意

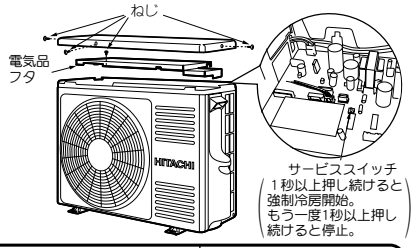
●コンセントは新しいものを使用する
古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故につながる場合があります。
●電源プラグを差込むときは2～3回抜き差しを行い、なじませてから完全に差し込む

試運転

●試運転を行いエアコンが正常に運転することを確認してください。
●取扱説明書の手順で操作について「お客様」に説明してください。
●室内機が動かない場合は、Fケーブルの誤接続がないか確認してください。
●高帯電空清フィルターの取り付けかたについては取扱説明書のP.11をごらんください。

強制冷房運転

●室外機のサービススイッチを1秒以上押すと、強制冷房運転になります。故障診断や、室外機に冷媒を回収するときに使用してください。



据え付けチェック

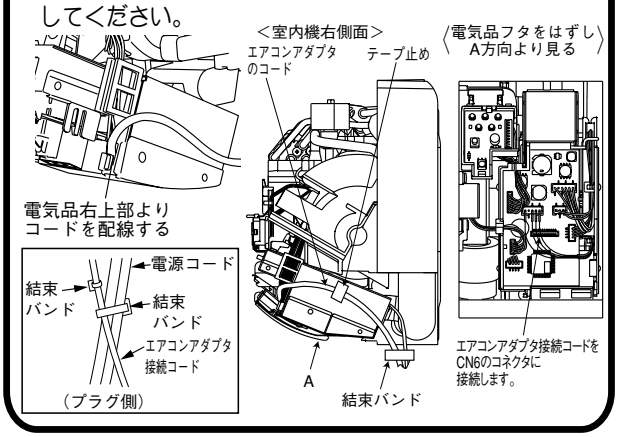
●右の「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。

⚠注意

●サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

HAシステムと接続するとき

●別売のHA接続コード（サービスパーツ品RAS-2810RX100）が必要です。
●化粧カバー、電気品フタをはずし、上記のHA接続コードに付属の作業要領書に従い、配線を接続します。
●下図のように、エアコンアダプター接続コードをテープ止めしてはわせ、電源コードに結束バンドで縛ります。
●詳しくはHA機器に付属の取付説明書と合わせて、よくお読みください。
●化粧カバーの外しかた・取り付けかたを本説明書で確認してください。



キ--リ--ト--リ

お客様氏名			様
（電話番号）	（　　）		
お客様住所			
機　種　名		製　造 番　号	
据付年月日		据　付 担当者	

ルームエアコン据付点検カード

（点検済みの項目の□の中に✓印を記入してください。）

- □ 配管はR410A用を使用しましたか
- □ 輸送部品は、はずしましたか
- □ 配管接続部のガス漏れはありませんか
- □ 接続ケーブルの接続は正しく確実ですか
- □ 除湿水は漏れずに、よく排水しますか　また、露受皿に除湿水がたまらないような傾斜で据え付けられていますか
- □ 配管接続部の断熱はしましたか
- □ 据付強度はじゅうぶんですか
- □ 化粧カバー(化粧パネル・ルーバー)は確実に取り付けてあり、落下の危険はありませんか
- □ アースは正しくしてありますか
- □ 壁穴に保護パイプをつけましたか
- □ 壁穴部のシールは確実にしましたか
- □ 試運転をしましたか
- □ 取扱説明書の表紙に記載された形式名のうちの、据え付けた形式名の前に○印を付けましたか
（取扱説明書が2機種以上の共用になっている場合）
- □ お客様に正しい取り扱い方と、運転のしかたを説明しましたか

サービス記録

年 月 日	サービス内容	サービス担 当 者

キリトリ線から切りはなし、据付時の点検、サービスの記録として、お店で保管、ご使用ください。